

間接工事費等諸経費動向調査 (令和2年度竣工工事対象)

⑦下請者用入力マニュアル

Ver20.01

調査票提出先及び提出期限

- 1) 下請担当者 → 元請担当者
- 2) 元請担当者 → 発注事務所等担当者
(**工事引き渡し日までに**発注事務所等担当者へ提出及び
調査票配布サイト(RepoBox)よりアップロードにて提出)
- 3) 発注事務所等担当者
(**工事完了日から30日以内に**調査票配布サイト(RepoBox)
よりアップロードにて提出。なお、本サイトは令和3年3月
31日まで運用を予定しています。それ以降は、発注担当事務
所等で保管し、後日、提出となる予定です。)

**注) 基本的には、下請者用入力システム(⑬下請.xlsx)に電子入力してください。
電子入力が不可能な場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。**

本調査は、公共土木請負工事における諸経費率について、実態調査に基づく検討を行う目的で実施するものです。この調査票に記入された内容を他に漏らすことや、他の目的に使用することは決してありませんので、事実をありのままに記入していただけます。

下請の調査票から入力する「下請」関係のシートは、事実をありのままに記入してください。

調査票を受領後、調査担当機関より記載事項について聞き取り調査を行うことがあります。その際、根拠となった契約書等の提示を求めることがありますので、ご協力のほどお願いいたします。

また、調査票は令和4年3月末頃迄保管していただけます。

<調査票入力に関する問合せ先>

一般財団法人 国土技術研究センター
技術・調達政策グループ

〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-12-1(ニッセイ虎ノ門ビル9階)

TEL 03-4519-5004

FAX 03-4519-5015

※問合せは、平日(祝日を除く月曜日～金曜日)の午前9時30分から12時、午後1時から午後6時の間にお願いします。

目 次

1 諸経費動向調査Q&A.....	1
2 調査票の配布及び入力後の提出フロー	2
3 各担当者別の作業手順.....	3
4 配布物及び提出物	5
4-1 元請者より提供される、もしくは調査票配布サイトよりダウンロードするもの	5
4-2 入力後提出するもの	5
5 調査票作成の手順	6
6 システム環境	7
7 入力システム使用上の注意.....	8
7-1 入力システムの事前準備.....	8
7-2 計算方法	9
7-2-1 「計算方法」の設定	9
8 入力システムのシート構成.....	11
9 入力システムの作業フロー	13
10 入力時の注意事項	14
11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて	15
12 入力方法及び入力項目の内容	16
12-1 「開始画面」シート	16
12-2 「1_一般事項」シート	17
12-2-1 入力例（1_一般事項シート）	17
12-2-2 入力項目（1_一般事項シート）	17
12-3 「2_社員等従業員給料等」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳	18
12-3-1 入力例（2_社員等従業員給料等シート）	19
12-3-2 入力項目（2_社員等従業員給料等シート）	20
12-3-3 入力操作方法（2_社員等従業員給料等シート）	21
12-4 「3_法定福利費」シート 下請者の法定福利費内訳	22
12-4-1 入力例（3_法定福利費シート）	23
12-4-2 入力項目（3_法定福利費シート）	24
12-5 「4_労務管理費」シート 下請者の労務管理費内訳	31
12-5-1 入力例（4_労務管理費シート）	32
12-5-2 入力項目（4_労務管理費シート）	33
12-6 「5-1_機器材運搬費」シート 下請者の機器材の運搬費内訳	34
12-6-1 入力例（5-1_機器材運搬費シート）	35
12-6-2 入力項目（5-1_機器材運搬費シート）	36
12-7 「5-2_建設機械 I」シート 下請者の建設機械 I の運搬費内訳	38
12-7-1 入力例（5-2_建設機械 I シート）	39
12-7-2 入力項目（5-2_建設機械 I シート）	40
12-7-3 入力操作方法（5-2_建設機械 I シート）	43
12-8 「5-3_建設機械 II」シート 下請者の建設機械 II の運搬費内訳	44

12-8-1 入力例 (5-3_建設機械Ⅱシート)	45
12-8-2 入力項目 (5-3_建設機械Ⅱシート)	46
12-8-3 入力操作方法 (5-3_建設機械Ⅱシート)	48
12-9 「6_工事費」シート	49
12-9-1 入力操作方法 (6_工事費シート)	50
12-9-2 入力例 (6_工事費シート)	51
12-9-3 入力項目 (6_工事費シート)	53
12-10 「7-1_品質管理」シート	76
12-10-1 入力項目 (7-1_品質管理シート)	76
12-10-2 入力例 (7-1_品質管理シート)	77
12-10-3 入力操作方法 (7-1_品質管理シート)	78
12-11 「7-2_特殊な品質管理」シート	79
12-11-1 入力項目 (7-2_特殊な品質管理シート)	79
12-11-2 入力例 (7-2_特殊な品質管理シート)	80
12-11-3 入力操作方法 (7-2_特殊な品質管理シート)	80
12-12 「7-3_現場条件等」シート	81
12-12-1 入力項目 (7-3_現場条件等シート)	81
12-12-2 入力例 (7-3_現場条件等シート)	82
12-12-3 入力操作方法 (7-3_現場条件等シート)	82
12-13 「7-4_各種調査」シート	83
12-13-1 入力項目 (7-4_各種調査シート)	83
12-13-2 入力例 (7-4_各種調査シート)	84
12-13-3 入力操作方法 (7-4_各種調査シート)	84
12-14 「7-5_各種台帳」シート	85
12-14-1 入力項目 (7-5_各種台帳シート)	85
12-14-2 入力例 (7-5_各種台帳シート)	86
12-14-3 入力操作方法 (7-5_各種台帳シート)	86
12-15 「7-6_ICT建設機械」シート	87
12-15-1 入力項目 (7-6_ICT建設機械シート)	87
12-15-2 入力例 (7-6_ICT建設機械シート)	88
12-15-3 入力操作方法 (7-6_ICT建設機械シート)	88
12-16 「7-7_その他」シート	89
12-16-1 入力項目 (7-7_その他シート)	89
12-16-2 入力例 (7-7_その他シート)	90
12-16-3 入力操作方法 (7-7_その他シート)	90
12-17 「8-1_準備・測量」シート	91
12-17-1 入力項目 (8-1_準備・測量シート)	91
12-17-2 入力例 (8-1_準備・測量シート)	92
12-18 「8-2_その他」シート	93
12-18-1 入力項目 (8-2_その他シート)	93

農水

12-18-2 入力例（8-2_その他シート）	94
12-19 「9-1_現場環境改善_仮設備」シート	95
12-19-1 入力項目（9-1_現場環境改善_仮設備シート）	95
12-19-2 入力例（9-1_現場環境改善_仮設備シート）	96
12-20 「9-2_現場環境改善_営繕」シート	97
12-20-1 入力項目（9-2_現場環境改善_営繕シート）	97
12-20-2 入力例（9-2_現場環境改善_営繕シート）	98
12-21 「9-3_現場環境改善_安全」シート	99
12-21-1 入力項目（9-3_現場環境改善_安全シート）	99
12-21-2 入力例（9-3_現場環境改善_安全）	100
12-22 「9-4_現場環境改善_地域」シート	101
12-22-1 入力項目（9-4_現場環境改善_地域シート）	101
12-22-2 入力例（9-4_現場環境改善_地域シート）	102
12-23 「9-5_現場環境改善_その他」シート	103
12-23-1 入力項目（9-5_現場環境改善_その他シート）	103
12-23-2 入力例（9-5_現場環境改善_その他シート）	104
12-24 「10_I C T」シート	105
12-24-1 入力項目（10_I C Tシート）	105
12-24-2 入力例（10_I C Tシート）	106
12-25 「11_快適トイレ」シート	107
12-25-1 入力項目（11_快適トイレシート）	107
12-25-2 入力例（11_快適トイレシート）	109
12-26 「12_感染対策」シート	110
12-26-1 入力項目（12_感染対策）	110
12-26-2 入力例（12_感染対策）	111

1 諸経費動向調査 Q&A

Q1 入力システムへの入力に際してパスワードを要求される場合には?

→A: パスワードが要求される個所は、入力の必要がない個所です。

入力対象は、薄黄色のセルのみです。薄緑色のセルは数式等が入っているため、自動入力です。【マニュアル P.14 の入力時の注意事項を参照して、入力してください。】

Q2 マニュアル記載の入力例と入力システムの表示画面が異なる場合には?

→A: 初期入力段階では異なる場合があります。(入力項目の増減がある為)

入力操作が出来ない場合には**Q2** の入力システム起動時の設定を確認してください。

Q3 『2_法定福利費』で、『A. 労災保険料』『2.事業の種類』でプルダウン中に該当する項目がない場合は?

→A: 『その他の建設業』を選択し、『10. 上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』に保険料率を入力してください。

例えば、「警備業は保険料率を〇〇%で算出している為」等。

Q4 エラー『#REF!』の表示が出た場合には?

→A: Excel のエラー『#REF!』の表示の場合は、入力作業の段階で**入力システムが破損**したことが考えられます。(一財) 国土技術研究センターへご連絡下さい。

Q5 エラー(『#N/A』、『VALUE!』)等の表示が出た場合には?

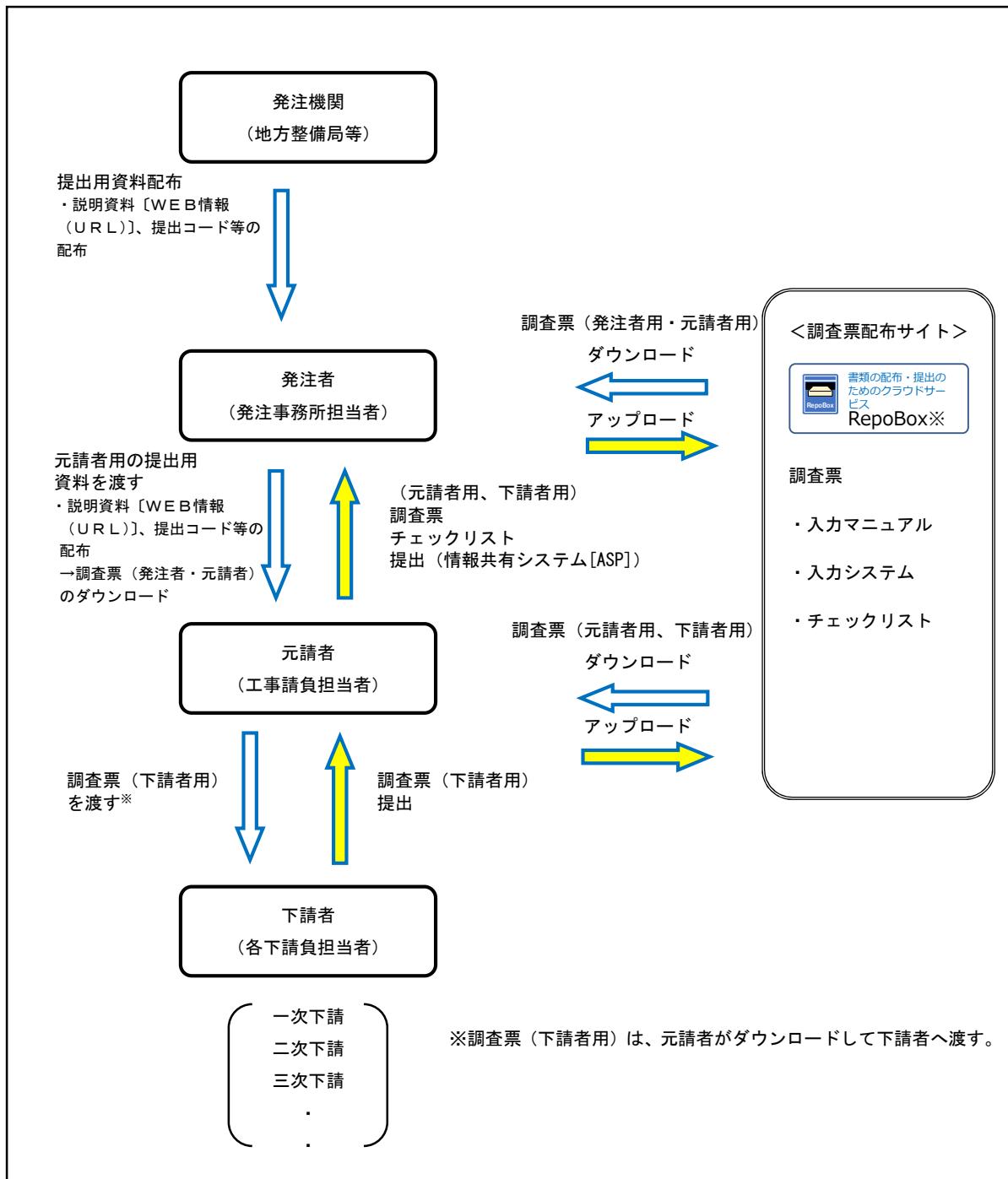
→A: Excel のエラー(『#N/A』、『VALUE!』)の表示の場合は、数値入力セルに文字入力等の誤入力が考えられます再度入力セルの確認をお願いします。

Q6 法定福利費の算出方法が不明の場合には?

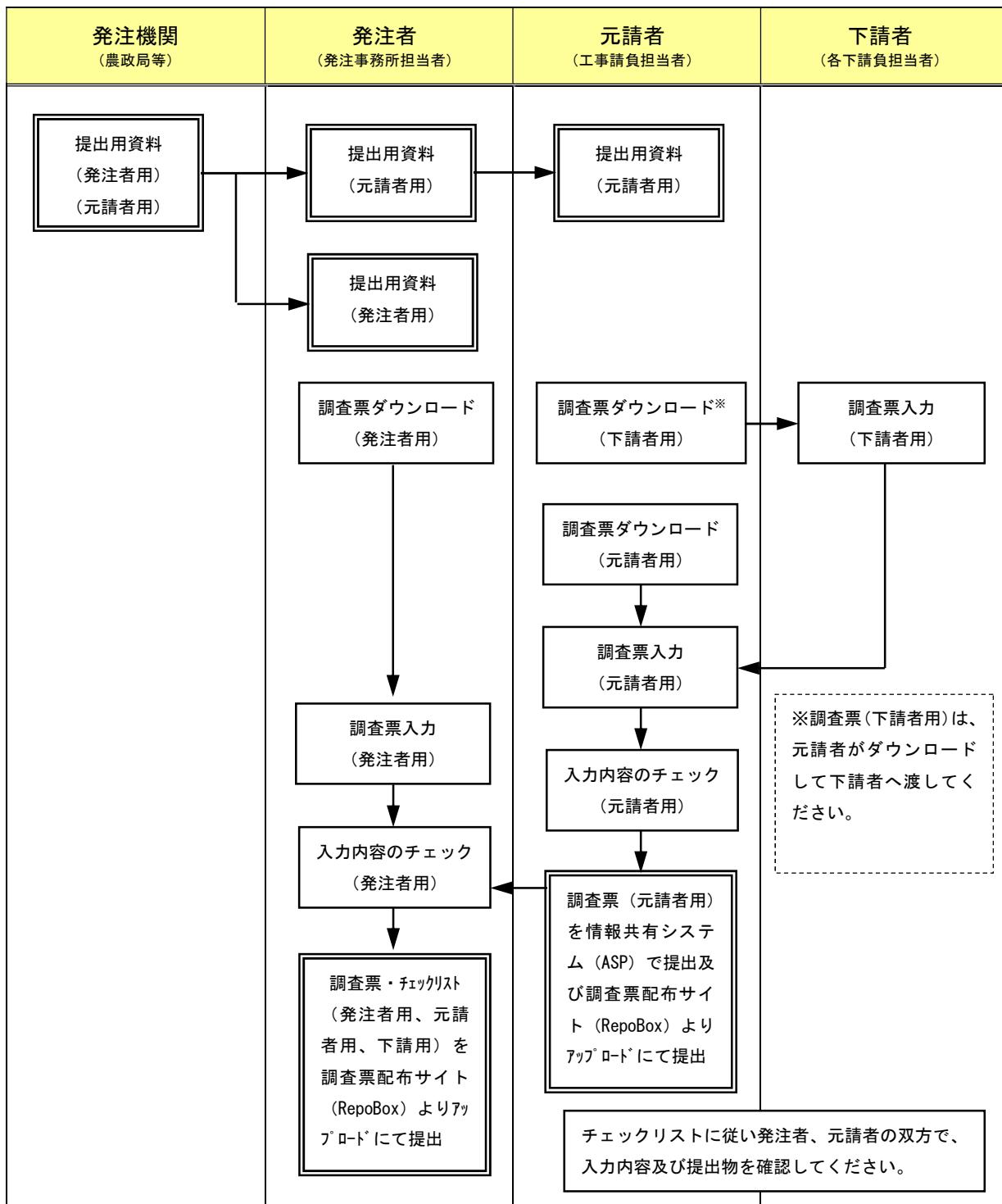
→A 調査対象工事に従事した社員等従業員および労働者の事業主負担分を**調査対象工事に応じて按分計上してください。**

法定保険料を年払い処理している場合、個人事業主の場合等はマニュアル P.29 の注)を参照して、入力してください。

2 調査票の配布及び入力後の提出フロー



3 各担当者別の作業手順



※調査票(下請者用)は、
元請者がダウンロード
して下請者へ渡してく
ださい。

農水

- ・ 基本的には、下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）に電子入力してください。
電子入力が不可能な場合には、手書きで入力し、紙媒体で提出してください。
- ・ 再下請者がある場合、再下請者に調査票（下請者用）をコピーして配布してください。
- ・ **再下請者から入力システム（⑫下請.xlsx）を回収した後、自社分の調査票に再下請者の入力内容を転記する必要があります。（再下請者への外注分を記入します）**

例 1) 下請者が二次下請までの場合（二次から三次への外注が無い）

- ① 一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

例 2) 下請者が三次下請におよぶ場合（二次から三次へ外注がある場合）

- ① 二次下請者は、回収した三次下請者の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』に転記（入力）してください。（三次下請者への外注費分を記入することとなります。）
- ② 一次下請者は、回収した二次下請者の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』を自社の『下請者用入力システム（⑫下請.xlsx）』に転記（入力）します。（二次下請者への外注費分を記入することとなります。）

注 1) 再下請者に調査を依頼する際、再々下請者以降に請負わせた外注費についても、各費目に分けて調査するようあらかじめ依頼しておいてください。

注 2) 詳細な仕分けが困難な場合は、各費目の一括合計を入力してください。

注 3) 元請者の指導、助成により、三次下請者以降の実態を調査してください。

- ・ 調査票（下請者用）の入力及び元請者への提出は『施工体制上の全ての業者』を対象に行ってください。

4 配布物及び提出物

4-1 元請者より提供される、もしくは調査票配布サイトよりダウンロードするもの

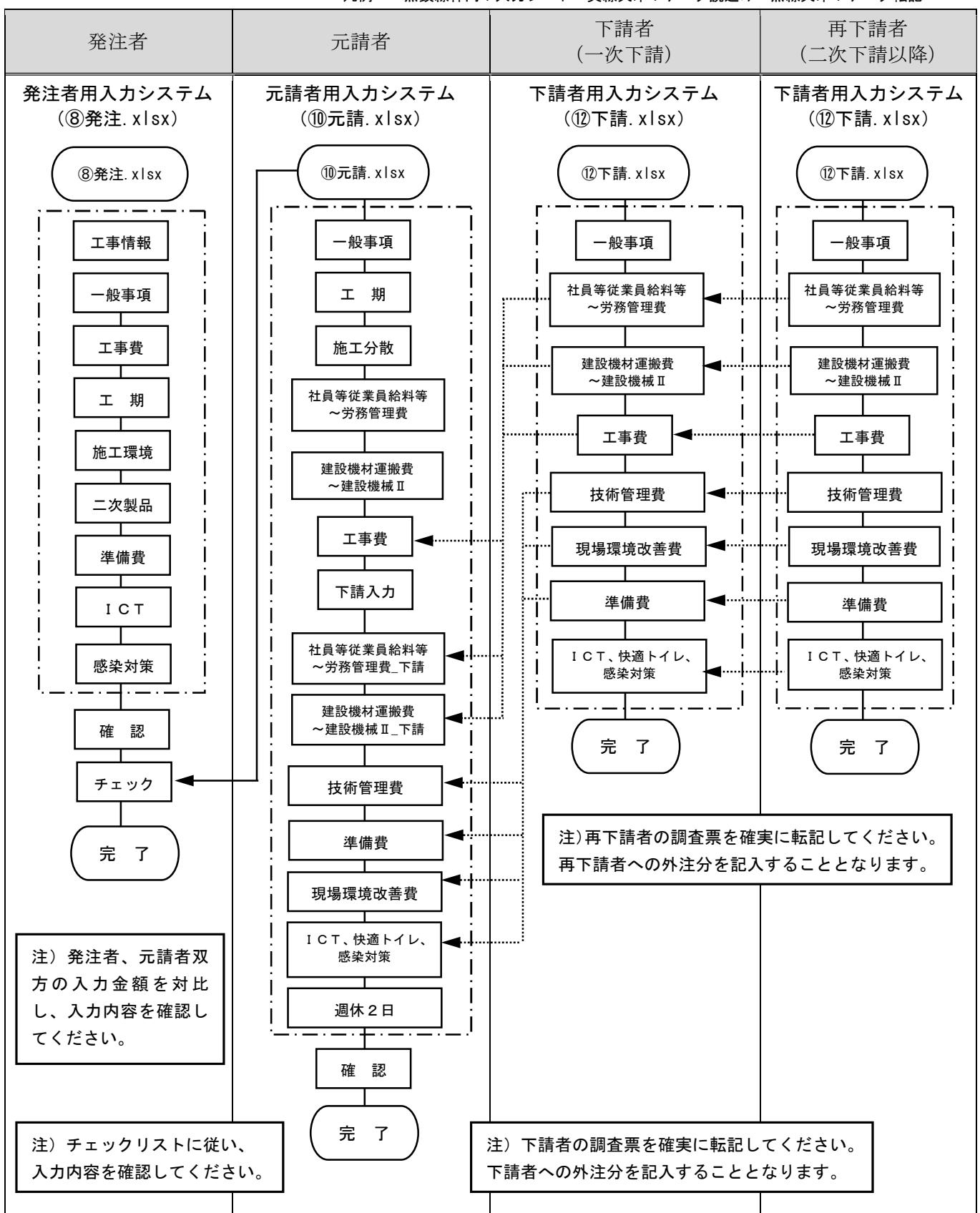
		ファイル名
調査票（下請者用）		
入力マニュアル	調査票入力の概要（元請・下請）	④調査票入力の概要（元請・下請）.pdf
	下請者用入力マニュアル	⑦下請者用入力マニュアル.pdf
入力システム	下請者用入力システム	⑫下請.xlsx

4-2 入力後提出するもの

		ファイル名
入力システム	下請者用入力システム	⑫下請.xlsx

5 調査票作成の手順

凡例 一点鎖線枠内：入力シート 実線矢印：データ読み込み 点線矢印：データ転記



6 システム環境

諸経費動向調査入力システムが、正常に動作するために必要なシステム環境を以下に記します。
なお、【推奨】と記された項目は、システムを快適にご使用頂くために推奨するシステム環境です。

◆コンピュータ本体

Pentium 200MHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) が稼動するパーソナルコンピュータ。

【推奨】 Intel Core2Duo 2.0GHz 以上の CPU を搭載し、Microsoft Windows8 以降の OS が稼動するパーソナルコンピュータ。

◆メモリ

コンピュータ本体メモリ 2GB 以上。

【推奨】 コンピュータ本体メモリ 4GB 以上。

◆ディスプレイ

コンピュータ本体に接続可能で、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) に対応しているカラーまたはモノクロディスプレイ。

【推奨】 1280×1024 ドット表示可能な 17 インチのカラーディスプレイ。

◆使用可能マウス

コンピュータ本体に対応し、Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) で使用が可能なもの。

◆基本ソフトウェア

コンピュータ本体に対応した Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) が必要。
また、別途 Microsoft Excel (Excel 2013、Excel 2016 のいずれか) 及び Microsoft Word (Word 2013、Word 2016 のいずれか) が必要。

◆プリンタ

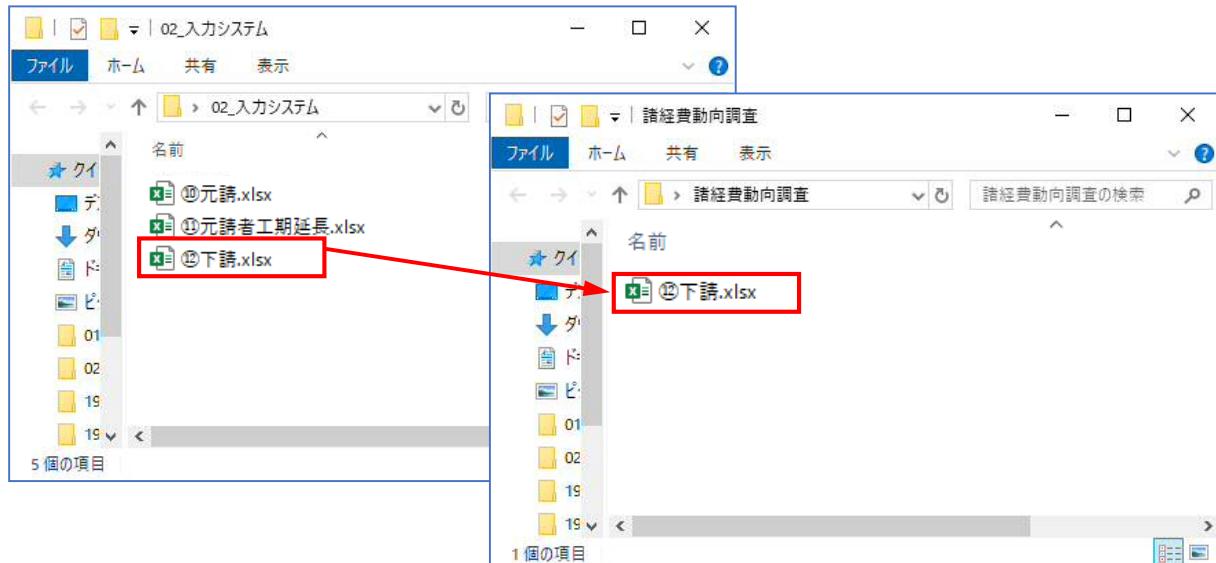
Microsoft Windows (Windows 8、Windows 10 のいずれか) に準じるプリンタ。

7 入力システム使用上の注意

7-1 入力システムの事前準備

パソコンのハードディスクに調査票配布済サイトより入力システムをダウンロードし、**使用してください**。

作成するフォルダの場所及びフォルダ名は任意で構いません。



ハードディスク内のマイドキュメントに「諸経費動向調査」フォルダを作成し、
入力システム（下請.xlsx）をコピーしたイメージです。

7-2 計算方法

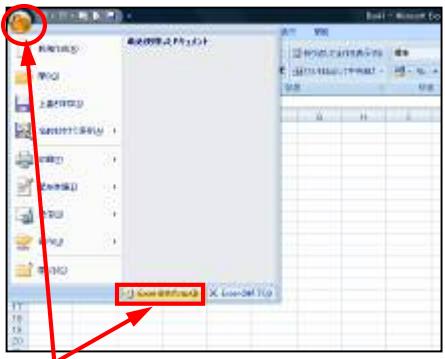
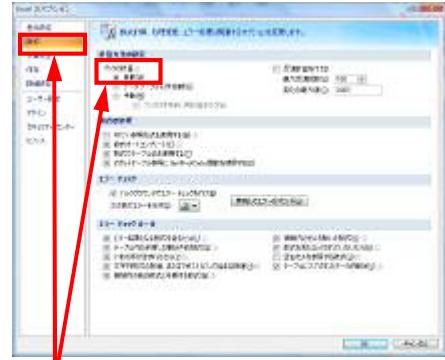
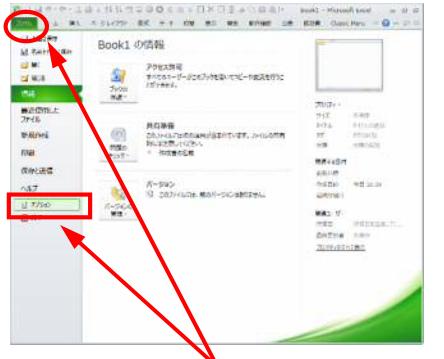
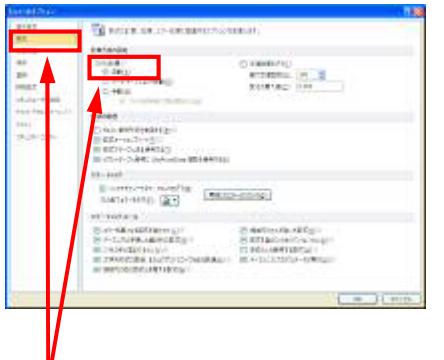
入力システムを操作する前に、以下の設定を必ず行ってください。

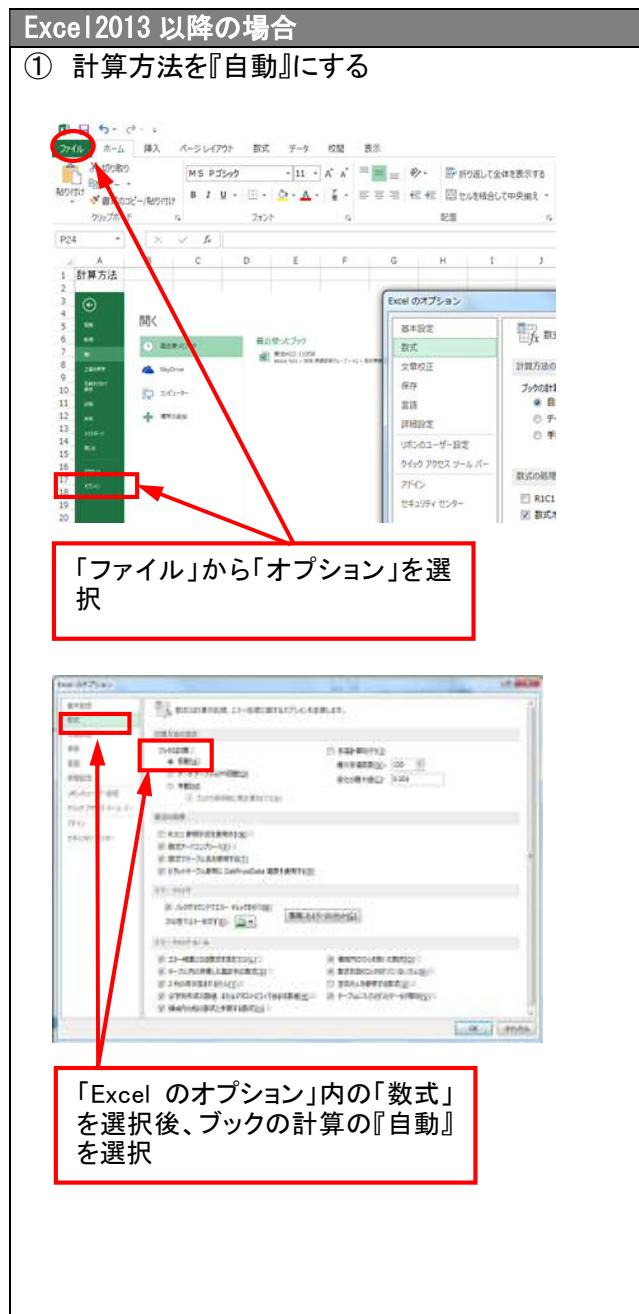
※使用するExcelのバージョンにより、設定方法が違います。

使用するパソコンのExcelバージョンを確認して、設定を行ってください。

Excelバージョンは、「ヘルプ」メニューの『バージョン情報』を選択すると確認できます。

7-2-1 「計算方法」の設定

Excel2007の場合	Excel2010の場合
<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「Office ボタン」から「Excel のオプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>	<p>① 計算方法を『自動』にする</p>  <p>「ファイル」から「オプション」を選択</p>  <p>「Excel のオプション」内の「数式」を選択後、ブックの計算の『自動』を選択</p>



8 入力システムのシート構成

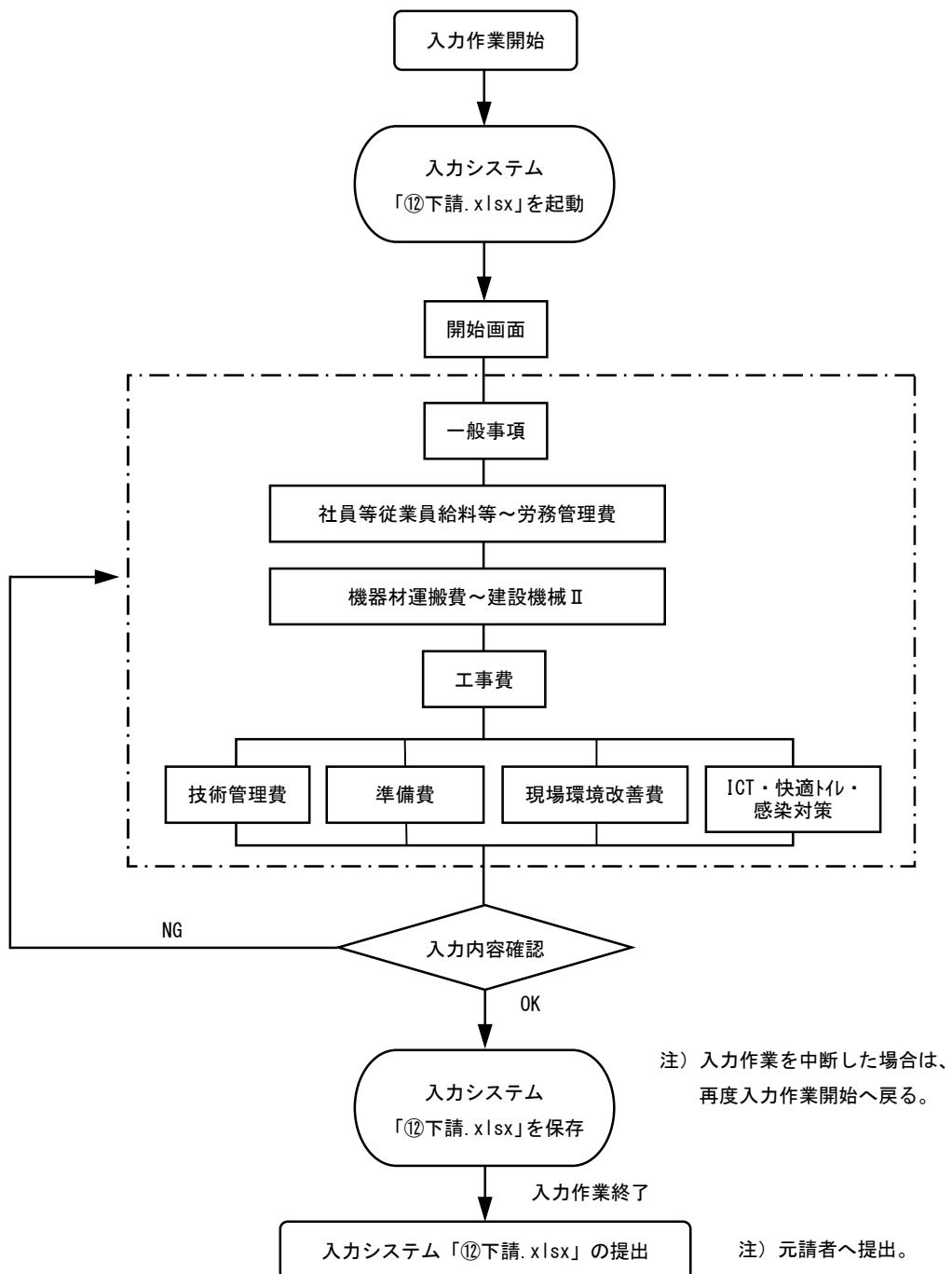
入力システムは、以下のようなシート構成になっています。

下請者用入力票（⑫下請.xlsx）

シート名	シート内容	マニュアル 掲載頁
開始画面	入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。 入力するシートではありません。	P. 16
1_一般事項	整理番号、記入者、会社名を入力します。	P. 17
2_社員等従業員給料等	現場管理費中の 社員等従業員給料等内訳 を入力します。	P. 18
3_法定福利費	現場管理費中の 法定福利費内訳 を入力します。	P. 22
4_労務管理費	現場管理費中の 労務管理費内訳 を入力します。	P. 31
5-1_機器材運搬費	運搬費（ 機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用 ） 内訳 を入力します。	P. 34
5-2_建設機械 I	運搬費（ 建設機械 I の運搬に係る費用 ） 内訳 を入力します。	P. 38
5-3_建設機械 II	運搬費（ 建設機械 II の運搬に係る費用 ） 内訳 を入力します。	P. 44
6_工事費	工事費（最終実績金額）内訳を入力します。 工事費は、『直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等』等について入力します。 直接工事費は、『材料費、労務費、機械器具等損料』等について入力します。 共通仮設費は、『運搬費、準備費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費及び營繕費』について入力します。 ただし、『運搬費』については、『5-1_機器材運搬費』シートから『5-3_建設機械 II』シートにて入力します。 現場管理費は、『労務管理費、社員等従業員給料手当、保険料、法定福利費』等について入力します。 ただし、労務管理費、社員等従業員給料手当及び法定福利費については、『2_社員等従業員給料等』シートから『4_労務管理費』シートにて入力します。	P. 49
7-1_品質管理	技術管理費において、『 A 品質管理費等 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 76
7-2_特殊な品質管理	技術管理費において、『 B 特殊な品質管理 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 79
7-3_現場条件等	技術管理費において、『 C 現場条件等費用 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 81
7-4_各種調査	技術管理費において、『 D 各種調査等 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 83
7-5_各種台帳	技術管理費において、『 E 各種台帳等 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 85
7-6_ICT建設機械	技術管理費において、『 F ICT建設機械 』に要した費用の内訳を入力します。	P. 87

シート名	シート内容	マニュアル 掲載頁
7-7_その他	技術管理費において、『G その他』に要した費用の内訳を入力します。	P. 89
8-1_準備・測量	準備費において、『A 準備・測量等』に要した費用の内訳を入力します。	P. 91
8-2_その他	準備費において、『B その他』に要した費用の内訳を入力します。	P. 93
9-1_現場環境改善_仮設備	現場環境改善費において、『A 仮設備関係』に要した費用の内訳を入力します。	P. 95
9-2_現場環境改善_営繕	現場環境改善費において、『B 営繕関係』に要した費用の内訳を入力します。	P. 97
9-3_現場環境改善_安全	現場環境改善費において、『C 安全関係』に要した費用の内訳を入力します。	P. 99
9-4_現場環境改善_地域	現場環境改善費において、『D 地域連携』に要した費用の内訳を入力します。	P. 101
9-5_現場環境改善_その他	現場環境改善費において、『E その他』に要した費用の内訳を入力します。	P. 103
10_ICT	ICT 活用工事の実施に当たり、要した費用の内訳を入力します。	P. 105
11_快適トイレ	快適トイレの設置に要した費用の内訳を入力します。	P. 107
12_感染対策	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用について 入力します。	P. 110

9 入力システムの作業フロー



10 入力時の注意事項

入力システムに調査情報を入力する際は、下表の注意事項に注意して入力してください。

項目		注意事項
入力欄	入力箇所	調査情報を入力、または選択する入力欄は『 黄色 』で着色しています。 調査情報の入力、または選択をしてください。
	入力不要箇所	調査情報を選択する入力欄では、右端にプルダウン（▼）が表示されます。プルダウン（▼）をクリックすると選択するリストが表示されますので、該当する内容を選択してください。
		調査情報の入力不要の欄は『 緑色 』で着色しています。 この欄の値は、入力した値の合計が自動的に算出されたもの、または他の入力シートで入力した値が表示されます。
入力調査情報	金額	『 最終実績金額 』を入力してください。 下請者が施工に要した金額です。 注) 下請者の外注費は、再下請者が施工に要した費用です。
		『 千円単位 』で入力してください。「千円未満」は四捨五入してください。
		『 消費税抜き 』の金額で入力してください。
		該当する費目が無い場合や「 0円 」の時は、『 0 』を入力してください。
警告表示	数値	『整数』で入力してください。 小数点以下は四捨五入してください。 (ただし、一部の入力シートでは、小数点以下を含めた数値で入力する場合があります。)
	自由回答 (文字)	入力欄の関係上、入力された文字（内容）が入力欄からはみ出たり、文字が切れて見えなくなる場合があります。 その場合でも、入力された文字（内容）は有効ですので、そのまま入力してください。
エラー		入力内容に不備がある場合は『E』が表示されます。 また、入力箇所により『エラーのメッセージ』が表示されます。 エラーが表示された場合は、適切な内容を入力、もしくは選択をしてください。

11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて

入力システムに調査情報を入力する際は、下表の用語及び費用の取り扱いに注意して入力してください。

用語	従事内容	賃金を入力する項目
労働者	<p>労働者とは、直接、肉体的もしくは技能的労働を伴つて工事施工に従事する者をいいます。</p> <p>この場合の賃金は、一般に日給、月給、出来高給、請取り給のいずれかによって支払われます。</p> <p>例) 普通作業員、世話役、重機オペレーター、鉄筋工、とび工、石工、配管工、大工、左官、電工等</p>	<p>直接工事に従事した労働者 →直接工事費『労務費』</p> <p>共通仮設工事に従事した労働者 →共通仮設費『運搬費』、『準備費』、『安全費』等の該当する項目</p>
社員等従業員	<p>社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。</p> <p>注) 社員等従業員であっても、直接工事の施工に従事した場合は『労働者』とし、除きます。</p>	
社員	<p>元請者、あるいは下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。</p> <p>この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制が多くなります。</p> <p>例) 元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等 下請：主任技術者、現場管理を行う技術員等</p>	現場管理費 『社員等従業員給料手当』
社員以外の従業員	<p>元請者、あるいは下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。</p> <p>雇用は必要な期間だけであり、この場合の賃金支払い形態は、一般に月給制もしくは日給制です。</p> <p>例) 夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手、事務員等</p>	
交通誘導警備員	<p>交通誘導、機械の誘導等の交通管理業務に従事する者。</p> <p>例) 交通誘導警備員 A、交通誘導警備員 B</p>	<p>直接工事費 『労務費』</p> <p>※H27 年度以前の発注工事は、共通仮設費『安全費』</p>
技能関係等従事者	<p>測量、地質及び試験等の技能業務に従事する者。</p> <p>例) 測量技師、試験員等</p>	共通仮設費 『準備費』、『技術管理費』

注1) 『労働者』と『社員等従業員』は、従事内容により区別してください。

雇用上（元請・下請）の『正社員』と『非正社員』の区別ではありません。

例) 雇用上（元請・下請）の『正社員』であっても、普通作業員、重機オペレーター等として従事した場合は、『労働者』としてください。

注2) **工事の準備の測量等に要した費用及び労働者の賃金（労務単価）は、『準備費』に計上してください。**

品質管理及び出来形管理に要した費用及び労働者の賃金（労務単価）は、『技術管理費』に計上してください。

ただし、これらの業務を**社員等従業員が直接実施した場合の賃金（労務単価）は、「現場管理費」の『社員等従業員給料手当』に含むものとし、これらの業務に要した賃金（労務単価）として計上しないでください。**

注3) 事業主が労働者に要した費用のうち、**賃金（労務単価）以外の経費は、『現場管理費』の『労務管理費』及び『法定福利費』に計上してください。**

12 入力方法及び入力項目の内容

入力システムの入力方法及び各入力シートの入力項目の内容について説明します。

12-1 「開始画面」 シート

入力を進めていく上での簡単な注意事項が書かれています。

入力するシートではありません。

12-2 「1_一般事項」シート

整理番号、記入者、会社名を入力します。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-2-1 入力例（1_一般事項シート）

下記内容について入力してください。

管轄省庁	農水
整理番号	12345
担当者氏名	下請 太郎
役職名	工事部長
勤務先会社名	A建設(株)
下請次数	1次下請
電話番号	098-765-4321

※2次下請社数を入力してください。

再下請社数	2
-------	---

再下請会社名を入力してください。

番号	2次下請会社名
1	F組(株)
2	G工業(株)
3	
4	
5	

12-2-2 入力項目（1_一般事項シート）

項目	内 容
管轄省庁	調査対象工事の発注機関の名称が表示されています。
整理番号	調査対象工事の整理番号を入力してください。 不明な場合は、元請者に確認をしてください。
担当者氏名	入力担当者の氏名を入力してください。
役職名	入力担当者の役職名を入力してください。
勤務先会社名	入力担当者の勤務先を入力してください。
下請次数	勤務会社の下請次数をプルダウンメニューより選択してください。 注) 初期設定では、『1』次下請が選択されています。
電話番号	入力担当者の勤務先電話番号を入力してください。
再下請社数	再下請会社数を入力してください。
再下請会社名	再下請会社名を入力してください。

12-3 「2_社員等従業員給料等」シート 下請者の社員等従業員給料等内訳

現場管理費中の社員等従業員給料等内訳について入力します。

自社及び再下請者における社員等従業員（下表参照）について入力してください。

社員等従業員	社員等従業員とは、下記の『社員』及び『社員以外の従業員』をいいます。 注）直接工事の施工に従事した『労働者』は除きます。
社員	下請者が、恒常的な業務に従事させるために雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。
社員以外の従業員	下請者が、特定の業務、あるいは臨時の業務に従事させるために、雇用、現業員、技能員、補助員等の名称で雇用し、そのために必要な知識・技能を有する者をいいます。

注1) 雇用上の正社員であっても、直接作業に従事する者は『労務費』に計上してください。

注2) 自社及び再下請者において、現場管理者的業務（現場に駐在して、現場労働者の管理（帳付け）、あるいは元請会社社員との打合せ、品質管理、施工管理等の業務）**に従事した者について入力してください。**

注3) 鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）に含まれる社員等従業員給料手当は、計上しないでください。

注4) 自社及び再下請者において、『現場管理者的業務に従事した者』に該当する者がいない場合は、入力する必要はありません。

注5) 建設業法上、主任技術者の専任を義務付けられる場合は、専任を要する全期間について計上してください。

注6) 現場管理者的業務と労働者的業務を兼務している場合は、その従事した割合で按分してください。

注7) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『2_社員等従業員給料等』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における社員等従業員が、適正に記入されていることを確認してください。

注8) 自社の現場管理者が4人以上、または再下請者が4社以上ある場合は、入力欄を追加する必要があります。

（詳細については、後述「P. 21」の入力操作方法を参照してください。）

注9) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-3-1 入力例（2_社員等従業員給料等シート）

下請『2_社員等従業員給料等』シート：例）一次下請

※元請ファイルへの転記について(元請者が元請ファイルを作成する場合)

- 元請者が元請ファイルの「12_社員等従業員給料等」下請シートに転記する際は、赤枠部分の「**総合計**」欄を記入する。
 - 「総合計」欄は、一次下請(上段) +二次下請(下段)の合計金額です。二次以降がある場合は、二次以降も合算する。
 - 三次下請以降がある場合は、下段の記入欄に**三次の他**、**三次以降の業務従事者**が記入漏れにならないように記入する。

者は、赤枠部分を「元請」ファイルの
_社員等従業員給料等_下請」シートに→
記してください。

5,475

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注) 破線内に下位の下請者(三次下請)の入力がある場合は、

再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また

再下請『2 社員等従業員給料等』シート：例）二次下請

2.社員等従業員給料等		現場管理費中の社員等従業員料等内訳書(元請外注用)																					
「2.社員等従業員給料等」の対象者:		現場に駐在し、施工管理、品質管理、元請会社との打合せ、現場労働者の管理(帳簿づけ)等に從事した現場管理従事者。 ただし、現場管理業務と現場作業を兼務している場合は、その従事割合で按分し、現場管理業務の費用のみを計上してください。																					
「2.社員等従業員給料等」の対象外者:		たゞ、従事、普通作業員、鉄筋工、土工、電工、重機オペレーター等は、「6.工事費」シートの①直接工事費の②労務費」に計上してください。 交通運輸警備員、機械の誘導員等は、6.工事費の「①直接工事費 ②労務費」、 イ交通運輸警備員A、ロ交通運輸警備員B に計上してください。																					
会社名		現理年	現業前	現業後	現業種別	現業区分	現業上管																
(注6)		延長時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	金額				
2次下請業者		(I)合計	延長時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	平均時間	金額				
次下請業者		(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)				
2 A 建設（株）		ア	40	技術職員	主任技術者	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	12.00	310.0	10.0	330.0	3,960
2 A 建設（株）																			0.00		0.0	0	
3 A 建設（株）																			0.00		0.0	0	
3 下請業者																			12.00		3,960		
3 1F組（株）イ		イ	45	技術職員	職長	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30	0.10	0.10	0.30	2.00	310.0	45.0	31.1	386.0
3 2																			0.00		0.0	0	
3 3																			0.00		0.0	0	
3 下請業者																			2.00		0.0	0	
元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「12.社員等従業員給料等、下請」シートに転記してください。→																			14.00		772	4,732	
元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「12.社員等従業員給料等、下請」シートに転記してください。→																			14.00		772	4,732	

第二部分：社会文化与政治（民族主义与反民族主义、社会冲突与社会整合）

- 元請書ファイルへの転記について(元請者が元請書ファイルを作成する場合)**
1. 元請者が元請書ファイルの「12_社員等従業員給料等_下請」シートに転記する際は、赤枠部分の「**総合計**」欄の金額を**総額**としてください。
2. 「**総合計**」欄は、一次下請(上段)×二次下請(下段)の集計金額です。二次以降がある場合は、二次以降も合算した金額です。

は、赤枠部分を「元請」ファイルの
上員等従業員給料等_下請シートに→
てください。

1

第二阶段：从“一朝被蛇咬，十年怕井绳”到“三顾茅庐请诸葛，刘备招亲入西蜀”

1. 元請者が元請ファイルの「12_社員等従業員給料等_下請」シートに転記する際は、赤枠部分の「**総合計**」欄の金額を**転記**してください。
2. 「**総合計**」欄は、一次下請(上段)と二次下請(下段)の集計金額です。二次以降がある場合は、二次以降も合算した金額です。

は、赤枠部分を「元請」ファイルの
上員等従業員給料等_下請シートに→

140

12-3-2 入力項目（2_社員等従業員給料等シート）

項目	内 容
a. 会社名	自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
	再下請者分を入力する際は、『1_一般事項』シートで入力した再下請会社名がリスト表示されますので、その中から該当する再下請者の会社名を選んでください。
b. 現場管理者氏名	現場管理従事者名を A、B、C 等の記号で入力してください。 注) 個人名は記載しないでください。
c. 年 齢	本人の年齢を入力してください。
d. 職 種	『技術職員』(現場代理人、監理(主任)技術者、技術員等)、『事務職員』、または『その他』(夜警員、倉庫番、食事係、連絡車運転手等)のいずれかを選択してください。
e. 現場管理作業上の分担	現場での作業分担区分(主任技術者、職長、帳付け等)を記入してください。
f. 月別社員等従業員数	工事の開始月から終了月まで、各月毎の勤務割合を記入してください。 注1) 1ヶ月間、全て従事した場合を 100% とし、1.0(人/月)とします。 注2) 月の途中から従事した場合は、日割りで計算してください。 例) 対象工事に従事した日数 ÷ その月の出勤日数 = 当該勤務割合 5 日(対象工事従事日数) ÷ 23 日(当月出勤日数) = 0.22(人/月) 1 日(対象工事従事日数) ÷ 23 日(当月出勤日数) = 0.04(人/月) 注3) 他の工事と兼務している場合は、対象工事の勤務割合で按分してください。 例) 調査対象工事に、70%程度従事した場合 : 70 / 100 = 0.70 (人/月) 注4) 小数第1位までを入力してください。
g. 延 人	月別社員等従業員数の合計が自動算出されます。
h. 平均基本給	本人の1ヶ月当たりの基本給を入力してください。 昇給があり、基本給が変わった場合は、平均をとってください。 日給月給の場合は、当該工事期間中の平均給与を入力してください。
i. 平均時間外手当	本人の1ヶ月当たりの平均時間外手当を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は、本人が従事した期間の平均とします。
j. 平均その他手当	本人の1ヶ月当たりの h. 平均基本給及び i. 平均時間外手当以外の手当額(例:賞与、役職、資格、通勤、住宅、家族など)を入力してください。 各月の金額に変化がある場合は本人が従事した期間の平均とします。 賞与は、1ヶ月当たりに換算して、『平均その他手当』に加えてください。
k. 平均給料手当料	『h.』 + 『i.』 + 『j.』 の合計額が自動算出されます。
l. 金 額	『g.』 × 『k.』 が自動算出されます。(千円以下は四捨五入)

注) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 ニ 社員等従業員給料手当』の項目に自動計上されます。

12-3-3 入力操作方法（2 社員等従業員給料等シート）

① 入力欄

自社分の入力欄が 100 行（100 人分）、再下請者分の入力欄が 100 行（100 社分）表示されています。

また、期間は60列(60ヶ月分)表示されています。

12-4 「3_法定福利費」シート 下請者の法定福利費内訳

本シートでは、自社及び再下請者における**現場管理費中の法定福利費内訳について入力してください。**

- 注 1) 調査対象工事に従事した者の各種保険料を入力してください。
- 注 2) 各種保険料は、『調査対象工事における事業主負担額』分を入力してください。
- 注 3) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『3_法定福利費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。
同時に、再下請者における法定福利費が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注 4) 該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。
例) 調査対象工事において、船員保険料を掛ける必要が無い場合。
- 注 5) 各項目の合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費ト 法定福利費』の各項目に自動計上されます。
- 注 6) A 労災保険料について、有期の建設事業の場合、一括して元請負人のみを適用事業主として保険関係を成立させる為、基本的に下請者の労災保険費用負担はありませんので、事業主負担額は『0』になります。ただし、以下の条件に該当する下請者は労災保険料を入力してください。
※有期の建設事業において、元請負人及び下請負人の申請により一定の事業の規模を有する下請負事業を元請事業に一括することなく分離して保険関係を成立した場合。(下請事業の概算保険料の額が 160 万円以上又は請負金額が 1 億 9000 万円以上になる場合であって、元請負人と下請負人が共同で、「下請負人を事業主とする許可申請書」を提出し、政府の許可を取得した場合)
- 注 7) 自社において個別に加入している労災保険については『6_工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費へ保険料』の「その他労災保険（法定外を含む）」に入力してください。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-4-1 入力例（3_法定福利費シート）

下請『3_法定福利費』シート：例）一次下請

3 法定福利費		法定福利費内訳書（元額外注用）		
該工事に従事した者の各種保険料（事業主負担額）について計算してください。		事業主負担額の計算方法 各月の事業主負担の保険料がかかる月 期間：2023年1月～2023年12月 例：1月の負担額10万円、2月の負担額2万円 各月は2万円 新規登録の場合は、支払資金合計10万円、29年分の選択		
※記載順序に沿って入力してください。 ※記載方法はマニュアルの該当ページ、又は本シートの記入セルに表示されるメモを確認してください。				
法定福利費内訳	1 次下請	2 次下請	3 次下請	
	A 計算	F社(甲)	G工事(甲)	
記載順序	記載順序			
1.事業主負担額(千円)	①	70,000	14,000	10,000
2.被保険者へ人数(人)	②	2,000	400	300
3.一人一月あたりの賃金(千円)/人日	③	35	35	35
4.入力確認		OK	OK	OK
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
B 対象者登録	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	④	0	0	0
2.事業主の種別	⑤	入力不要一	入力不要一	入力不要一
3.登録方法	⑥	入力不要一	入力不要一	入力不要一
4.支払資金合計(千円)	⑦	入力不要一	入力不要一	入力不要一
5.支払資金合計の事業主負担額(千円)	⑧	入力不要一	入力不要一	入力不要一
6.割合(%)	⑨			
7.登録料(%)	⑩			
8.事業主負担額の自動計算額(千円)	⑪			
9.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	OK
10.入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
C 算定結果	記載順序			
1.事業主負担額(千円)	⑫	600	112	80
2.支払資金合計(千円)	⑬	70,000	14,000	10,000
3.対象者へ人数(人)	⑭	2,000	400	300
4.事業主負担額の自動計算額(千円) ⑮ 8.0%	⑯	560	112	80
5.事業主負担額の自動計算額(千円) ⑯ 8.0%	⑰			
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	OK
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	OK
8.対象者へ人数		OK	OK	OK
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
D 事業主登録(支払資金合計)	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	⑲	2,000	800	670
2.支払資金合計(千円)	⑳	50,000	14,000	10,000
3.対象者へ人数(人)	㉑	1,500	400	300
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉒ 5.83%	㉓	2,915	815	583
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉔ 4.83%	㉕	2,468	697	495
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	OK
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	OK
8.対象者へ人数		OK	OK	OK
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
E 保険料内訳書等	記載順序			
1.保険料内訳書(千円)	㉖	0,400	1,881	914
2.支払資金合計(千円)	㉗	70,000	14,000	10,000
3.対象者へ人数(人)	㉘	2,000	400	300
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉙ 9.15%	㉚	6,405	1,281	915
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉛ 9.15%	㉜	6,405	1,281	915
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	OK
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	OK
8.対象者へ人数		OK	OK	OK
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
F 保険料内訳書(合計額内訳書等)	記載順序			
1.保険料内訳書(千円)	㉖	1,870	0	0
2.支払資金合計(千円)	㉗	20,000	0	0
3.対象者へ人数(人)	㉘	500	0	0
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉙ 6.98%	㉚	1,397	0	0
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉛ 6.10%	㉜	1,220	0	0
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	OK
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	OK
8.対象者へ人数		OK	OK	OK
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
10.合計額内訳書 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)		11,234	2,202	1,870

再下請『3_法定福利費』シート：

例）二次下請

3 法定福利費		法定福利費内訳書（元額外注用）		
該工事に従事した者の各種保険料（事業主負担額）について計算してください。		事業主負担額の計算方法 各月の事業主負担の保険料がかかる月 期間：2023年1月～2023年12月 例：1月の負担額10万円、2月の負担額2万円 各月は2万円 新規登録の場合は、支払資金合計10万円、29年分の選択		
※記載順序に沿って入力してください。 ※記載方法はマニュアルの該当ページ、又は本シートの記入セルに表示されるメモを確認してください。				
法定福利費内訳	1 次下請	2 次下請	3 次下請	
	F社(甲)	F社(甲)	G工事(甲)	
記載順序	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	①	14,000	10,000	
2.被保険者へ人数(人)	②	400	300	
3.一人一月あたりの賃金(千円)/人日	③	35	35	
4.入力確認		OK	OK	
5.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
B 対象者登録	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	④	10,000	800	
2.事業主の種別	⑤	入力不要一	入力不要一	
3.登録方法	⑥	入力不要一	入力不要一	
4.支払資金合計(千円)	⑦	14,000	10,000	
5.支払資金合計の事業主負担額(千円)	⑧	400	300	
6.割合(%)	⑨			
7.登録料(%)	⑩			
8.事業主負担額の自動計算額(千円)	⑪	800	600	
9.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	
10.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	
11.対象者へ人数		OK	OK	
12.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
C 算定結果	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	⑫	112	80	
2.支払資金合計(千円)	⑬	14,000	10,000	
3.対象者へ人数(人)	㉑	300	200	
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉒ 8.0%	㉓	896	672	
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉔ 8.0%	㉕	896	672	
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	
8.対象者へ人数		OK	OK	
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
D 事業主登録(支払資金合計)	記載順序			
1.事業主登録欄(千円)	㉖	1,281	914	
2.支払資金合計(千円)	㉗	14,000	10,000	
3.対象者へ人数(人)	㉘	400	300	
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉙ 9.15%	㉚	1,281	914	
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉛ 9.15%	㉜	1,281	914	
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	
8.対象者へ人数		OK	OK	
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
E 保険料内訳書等	記載順序			
1.保険料内訳書(千円)	㉖	0	0	
2.支払資金合計(千円)	㉗	0	0	
3.対象者へ人数(人)	㉘	0	0	
4.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉙ 6.98%	㉚	0	0	
5.事業主登録欄の自動計算額(千円) ㉛ 6.10%	㉜	0	0	
6.入力確認 (事業主登録)		OK	OK	
7.入力確認 (支払資金合計)		OK	OK	
8.対象者へ人数		OK	OK	
9.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合は				
10.合計額内訳書 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)		1,281	914	0

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注）破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）

12-4-2 入力項目（3_法定福利費シート）

項目	内 容
会社名	<p>自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
基本情報	<p>1. 調査対象工事における『支払い賃金総額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における『従事者延べ人数』を入力してください。</p> <p>3. 一人一日当たりの賃金の自動計算値が表示されます。</p> <p>4. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありませんので次に進んで下さい。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 <p>(一人一日当たりの賃金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一人一日当たりの賃金が過大」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が少ない可能性があります。 ・「一人一日当たりの賃金が過小」と表示された場合は、『支払い賃金総額』に対して『従業者延べ人数』が多い可能性があります。入力した値を再度確認してください。 <p>5. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>

項目	内 容
	<p>1. 調査対象工事における『労災保険料』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事の『事業の種類』を選択してください。 (表 1 事業の種類)を参照 『事業の種類』に該当する項目が無い場合は、『その他の建設業』を選択し、『10. 上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由』に保険料率を入力してください。 例え、「警備業は保険料率を〇〇%で算出している為」等。</p> <p>3. 調査対象工事の労災保険料の『算出方法』を選択してください。 1: 支払い賃金合計×保険料率 もしくは、2: (工事請負金×労務比率) × 保険料率</p> <p>4. 上記 3. で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。 注) 上記 3. で『2: (工事請負金×労務比率) × 保険料率』を選択した場合は、入力の必要はありません。</p> <p>5. 上記 3. で『2: (工事請負金×労務比率) × 保険料率』を選択した場合に、調査対象工事における労災保険の対象となる『最終工事請負金額』を入力してください。 注) 上記 3. で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合は、入力の必要はありません。</p> <p>6. 調査対象工事における『労務比率 (%)』が表示されます。</p> <p>7. 調査対象工事における『労災保険料率 (%)』が表示されます。</p> <p>8. 調査対象工事における労災保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>9. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。</p> <p>(事業主負担額) ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。</p> <p>(支払い賃金合計) ・3. 算出方法で『1: 支払い賃金合計×保険料率』を選択した場合に有効となります。 ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『4. 支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。</p> <p>10. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>
A 労災保険料	

項目	内 容
B 雇用保険料	<p>1. 調査対象工事における『直傭及び日雇労働者雇用保険料事業主負担額』及び『現場従業員雇用保険料事業主負担額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における雇用保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。</p> <p>3. 調査対象工事における雇用保険対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における雇用保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 <p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 <p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と本項で入力した『2. 支払い賃金合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 <p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3. 対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>6. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>

項目	内 容				
	<p>1. 調査対象工事における現場従業員健康保険料（介護保険料含む）の『事業主負担額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における健康保険対象の『支払い賃金合計』を入力してください。</p> <p>3. 調査対象工事における健康保険対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p>				
	<p>6. 入力確認欄には、上記自動計算値表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 				
C 健康保険料 (介護保険料含む)	<p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 <p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 <p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>(理由入力例)</p> <table border="1"> <tr> <td>(対象者延べ人数)</td> <td>C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。</td> </tr> <tr> <td>7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由</td> <td>延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。</td> </tr> </table> <p>7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>	(対象者延べ人数)	C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。	7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。
(対象者延べ人数)	C.3対象者延べ人数(健康保険)「1000」とF.3対象者延べ人数(船員保険)「500」の合計が基本情報の従事者延べ人数「2000」と整合していません。入力値を確認してください。				
7.上記入力確認欄で確認メッセージが表示される場合の理由	延べ人数2000人中500人分は、国民健康保険に加入しており、事業主負担の適用外となるため。				

項目	内 容
D 厚生年金保険料 (児童手当拠出金含む)	<p>1. 調査対象工事における現場従業員厚生年金保険料の『事業主負担額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における厚生年金保険料対象の『支払い賃金合計』を入力してください。</p> <p>3. 調査対象工事における厚生年金保険料対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における<u>坑内員、船員</u>の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 調査対象工事における<u>一般作業員</u>の厚生年金保険料の『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>6. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「OK」と表示された場合は、問題ありません。 ・「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。 <p>(事業主負担額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。 <p>(支払い賃金合計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、C 健康保険料およびF 船員保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。 <p>(対象延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報で入力した『従事者延べ人数』と本項で入力した『3. 対象者延べ人数』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。 <p>7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>
E 建退共制度掛金等	入力不要の項目です。

項目	内 容
F 船員保険料 (介護保険料含む)	<p>1. 調査対象工事における船員保険料（介護保険料含む）の『事業主負担額』を入力してください。</p> <p>2. 調査対象工事における船員保険料対象の『支払い賃金合計』を入力してください。</p> <p>3. 調査対象工事における船員保険料対象の『対象者延べ人数』を入力してください。</p> <p>4. 調査対象工事における介護保険料を含む『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>5. 調査対象工事における介護保険料を含まない『事業主負担額』の自動計算値が表示されます。</p> <p>6. 入力確認欄には、上記自動計算値が表示されます。 • 「OK」と表示された場合は、問題ありません。 • 「確認メッセージ」が表示された場合は、入力内容を再確認してください。入力内容に誤りがない場合は、メッセージが表示された理由を記入してください。</p> <p>(事業主負担額) • 事業主負担額の入力値が『0』または入力値と自動計算結果の乖離が大きい場合にメッセージが表示されます。『1. 事業主負担額』を再度確認してください。</p> <p>(支払い賃金合計) • 基本情報で入力した『支払い賃金総額』と、F 船員保険料およびC 健康保険料の支払い賃金『合計額』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した金額を再度確認してください。</p> <p>(対象延べ人数) • 基本情報で入力した『従事者延べ人数』と、F 船員保険料およびC 健康保険料の対象者延べ人数の『合計』が異なる場合にメッセージが表示されます。入力した人数を再度確認してください。</p> <p>7. 上記入力確認欄で「OK」以外のメッセージが表示された場合は、メッセージが表示された理由を必ず記入して下さい。</p>
計	「A～F」までの合計額が自動算出されます。

注 1) 法定保険料の算定式は、目安です。

法定保険料の入力に際しては、調査対象工事において実際に要した法定保険料（事業主負担額）を入力してください。

注 2) 法定保険料を年払い処理している場合は、下記の式により算出して入力しても構いません。

入力する法定保険料=年間支払い金額×（当該現場請負金額／年間売上高金額）

注 3) 厚生年金上乗せ給付分（厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等）がある場合は、
 『②間接工事費（3）現場管理費 チ 福利厚生費』（P. 69参照）に計上してください。

注 4) 個人事業主の場合について

 ①労災保険（特別加入）は、『A 労災保険料』に計上してください。

 ②国民健康保険料は、『C 健康保険料（介護保険料含む）』に計上してください。

 ③国民年金は、『D 厚生年金保険料（児童手当拠出金含む）』に計上してください

注 5) 労災保険で還付金がある場合は、差し引いてください。

注 6) 各項目の合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費（3）現場管理費
 チ 法定福利費』の各項目に自動計上されます。

表 1 事業の種類

事業の種類
水力発電施設、ずい道等新設事業
道路新設事業
舗装工事業
鉄道又は軌道新設事業
建築事業(既設建築物設備工事業を除く)
既設建築物設備工事業
機械装置の組立て又は据付けの事業 (組立て又は取付けに関するもの)
機械装置の組立て又は据付けの事業(その他のもの)
その他の建設事業

12-5 「4_労務管理費」シート 下請者の労務管理費内訳

自社及び再下請者における**現場管理費中の労務管理費内訳について入力します。**

- 注 1) 賃金（労務単価）以外に、現場労働者に係る費用の内訳を入力してください。
- 注 2) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『4_労務管理費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。
同時に、再下請者における労務管理費が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注 3) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。
- 注 4) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-5-1 入力例（4_労務管理費シート）

下請『4_労務管理費』シート：例）一次下請

4.労務管理費		現場管理費中の労務管理費(元請外注用)					
		現場労働者にかかる労務管理費(a～e)について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)					
		金額単位:千円					
現場労働者にかかる		1次下請					
費用	内 容	A建設(株)	F組(株)	G工業(株)	2 次 下 請	合計	総合計
a. 募集・解散費	労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当	483	103	8	185	668	
b. 慰安・娯楽・厚生費	労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金	74	82	4	123	197	
c. 作業被服費	作業用具、作業服の費用(但し、工事費に含めている場合は除く)	130	62	4	103	233	
d. 銃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の當替費(労働者送迎費)に記入	167	41	4	82	249	
e. 災害時負担費用	労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用	93	0	0	0	93	
当該工事労務管理費:	a+b+c+d+e	947	288	20	0	493	1,440

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「14_労務管理費_下請」シートに転記してください。



青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。
注) 破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）

再下請『4_労務管理費』シート：例）二次下請

4.労務管理費		現場管理費中の労務管理費(元請外注用)					
		現場労働者にかかる労務管理費(a～e)について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)					
		金額単位:千円					
現場労働者にかかる		2次下請					
費用	内 容	F組(株)	1	2	3	合計	総合計
a. 募集・解散費	労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当	103	0	0	0	0	103
b. 慰安・娯楽・厚生費	労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金	82	0	0	0	0	82
c. 作業被服費	作業用具、作業服の費用(但し、工事費に含めている場合は除く)	62	0	0	0	0	62
d. 銃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の當替費(労働者送迎費)に記入	41	0	0	0	0	41
e. 災害時負担費用	労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用	0	0	0	0	0	0
当該工事労務管理費:	a+b+c+d+e	288	0	0	0	0	288

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「14_労務管理費_下請」シートに転記してください。

4.労務管理費		現場管理費中の労務管理費(元請外注用)					
		現場労働者にかかる労務管理費(a～e)について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)					
		金額単位:千円					
現場労働者にかかる		2次下請					
費用	内 容	G工業(株)	1	2	3	合計	総合計
a. 募集・解散費	労働者の赴任手当 労働者の帰省旅費 労働者の解散手当	82	0	0	0	0	82
b. 慰安・娯楽・厚生費	労働者の慰安旅行費 労働者の慰安会費用 労働者の慶弔金	41	0	0	0	0	41
c. 作業被服費	作業用具、作業服の費用(但し、工事費に含めている場合は除く)	41	0	0	0	0	41
d. 銃金以外の食事、通勤等に要する費用	労働者の食事補助、交通費の支給 ＊マイクロバス等の送迎は、共通仮設費の當替費(労働者送迎費)に記入	41	0	0	0	0	41
e. 災害時負担費用	労働者の看護費、見舞金 ＊労災保険等に給付以外の費用	0	0	0	0	0	0
当該工事労務管理費:	a+b+c+d+e	205	0	0	0	0	205

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「14_労務管理費_下請」シートに転記してください。

12-5-2 入力項目（4_労務管理費シート）

項目	内 容
会社名	自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。 自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
	再下請会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
a. 募集・解散費	調査対象工事における労働者の『赴任手当』、『帰省旅費』及び『解散手当』の合計額を入力してください。
b. 慰安・娯楽・厚生費	調査対象工事における労働者の『慰安旅行費』、『慰安会費用』及び『慶弔金』の合計額を入力してください。
c. 作業被服費	調査対象工事における労働者の『作業用具の費用』及び『作業服の費用』の合計額を入力してください。 注) 直接工事費及び共通仮設費に含まれない『作業用具』及び『作業用被服』の費用を計上してください。
d. 賃金以外の食事、通勤時に要する費用	調査対象工事における労働者の『早出、残業時の食事費(事業主負担分)』、『食事補助費』及び『支給した交通費』の合計額を入力してください。 注) マイクロバス等の送迎費用は、『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ト 営繕費 D 労働者送迎費』に計上してください。
e. 災害時負担費用	調査対象工事における労働者の『看護費』及び『見舞金』等の合計額を入力してください。 注) 労災保険等による給付以外の災害時に事業主が負担した費用を計上してください。
当該工事労務管理費 : a+b+c+d+e	「a～e」までの合計額が自動算出されます。

注) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (3) 現場管理費 イ 労務管理費』の項目に自動計上されます。

12-6 「5-1_機器材運搬費」シート 下請者の機器材の運搬費内訳

自社及び再下請者における**運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）内訳について入力します。**

- 注 1) 工事施工に必要な機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用を入力してください。
 - 注 2) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-1_機器材運搬費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。
同時に、再下請者における運搬費（機器材等の搬入、搬出並びに現場内小運搬の費用）が、適正に記入されていることを確認してください。
 - 注 3) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。
 - 注 4) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (1) 共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。
- 以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-6-1 入力例（5-1_機器材運搬費シート）

下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）一次下請

5-1_機器材運搬費 運搬費についての調査票(元請外注用)				
機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)				
A:機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用				
項 目	内 容	1 次下請	2 次 下 請	総 合
	A建設(株)	F総(株)	G工業(株)	計
1) 建設材①	型枠材、足場材、支材材(パイプサポータト等)、支材(木造材(合板含む等))、既設柱、構造躯体に使用する鉄筋及保形材(ひびき合板等)	20	0	0
2) 建設材②	鋼矢板、H形鋼、複合板等	0	15	0
3) 建設材③	鉄管等、レバー等	20	0	0
4) 敷地板①	型枠材等(足場材(複合材(板等))、スクリュー等)、足場材(木造材(合板含む等))、構造躯体工事用等	0	0	0
5) 敷地板②	建設機械等(直線搬送機等)、既設地盤上に使用する仮道用の敷地板	0	0	0
6) 敷地板③	敷地板(直線搬送機等)、既設地盤上に発生した敷地板	0	0	0
7) 橋梁等架設支工等	基礎鋼構造鋼矢板、支柱支材材、支柱受け台付橋脚鋼構造鋼矢板等	0	0	0
8) 橋梁用架設タワー等	PC構築片付(架設工事用床版)、構造ヘビート、構造用橋脚等(クレーン等)、構造(既設柱等)、既設柱(既設柱(構造ヘビート等)、既設柱(構造ヘビート等)等)	0	0	0
9) 橋梁用架設設備	架設材、手荷機、吊具装置等	0	0	0
10) 構造ひも取り卸し費	構造ひも取り卸し料(既設柱(構造ヘビート等)等)、既設柱(構造ヘビート等)の構造用橋脚(既設柱等)、その他の架設用タワー等	0	0	0
11) ハンネル用スライセンセル	ハンネル用スライセンセルに要した費用	0	0	0
12) 自動車軌道使用料	建設機械器具、既設柱及び建設設備機械の輸送における自動車軌道使用料(運搬中材料等)、既設柱(構造ヘビート等)等	0	0	0
13) その他①	上記①～⑪以外で発往者が車上に積み上げた費用	0	0	0
14) その他②	具体的な内容 ダンプカー用荷落し	0	0	0
合 計		80	15	95

元請者は、赤枠部分を「実績」ファイルの「5-1_機器材運搬費_下請」シートに転記してください。

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注) 破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。（総合計欄を転記してください）



再下請『5-1_機器材運搬費』シート：例）二次下請

5-1_機器材運搬費 運搬費についての調査票(元請外注用)				
機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)				
A:機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用				
項 目	内 容	2 次下請	3 次 下 請	総 合
	F総(株)	1	2	3
1) 建設材①	型枠材、足場材、支材材(パイプサポータト等)、支材(木造材(合板含む等))、既設柱、構造躯体に使用する鉄筋及保形材(ひびき合板等)	0	0	0
2) 建設材②	鋼矢板、H形鋼、複合板等	15	0	15
3) 建設材③	鉄管等、レバー等	0	0	0
4) 敷地板①	型枠等(搬送機工事用床版等)、クレーン等(搬送機工事用等)、構造(既設柱等)	0	0	0
5) 敷地板②	建設機械等(直線搬送機等)、既設地盤上に使用する仮道用の敷地板	0	0	0
6) 敷地板③	敷地板(直線搬送機等)、既設地盤上に発生した敷地板	0	0	0
7) 橋梁等架設支工等	基礎鋼構造鋼矢板、支柱支材材、支柱受け台付橋脚鋼構造鋼矢板等	0	0	0
8) 橋梁用架設タワー等	基礎用機械器具、既設柱及び建設設備機械の輸送における自動車軌道使用料(運搬中材料等)、既設柱(構造ヘビート等)等	0	0	0
9) 橋梁用架設設備	架設材、手荷機、吊具装置等	0	0	0
10) 構造ひも取り卸し費	構造ひも取り卸し料(既設柱(構造ヘビート等)等)、既設柱(構造ヘビート等)の構造用橋脚(既設柱等)、その他の架設用タワー等	0	0	0
11) ハンネル用スライセンセル	ハンネル用スライセンセルに要した費用	0	0	0
12) 自動車軌道使用料	建設機械器具、既設柱及び建設設備機械の輸送における自動車軌道使用料(運搬中材料等)、既設柱(構造ヘビート等)等	0	0	0
13) その他①	上記①～⑪以外で発往者が車上に積み上げた費用	0	0	0
14) その他②	具体的な内容 上記①～⑪以外で発往者が車上に積み上げた費用	0	0	0
合 計		15	0	15

5-1_機器材運搬費 運搬費についての調査票(元請外注用)				
機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用について入力してください。(該当する費用がない場合は、「0」を入力してください)				
A:機器材等の搬入搬出並びに現場内小運搬の費用				
項 目	内 容	2 次下請	3 次 下 請	総 合
	G工業(株)	1	2	3
1) 建設材①	型枠材、足場材、支材材(パイプサポータト等)、支材(木造材(合板含む等))、既設柱、構造躯体に使用する鉄筋及保形材(ひびき合板等)	0	0	0
2) 建設材②	鋼矢板、H形鋼、複合板等	0	0	0
3) 建設材③	鉄管等、レバー等	0	0	0
4) 敷地板①	型枠等(搬送機工事用床版等)、クレーン等(搬送機工事用等)、構造(既設柱等)	0	0	0
5) 敷地板②	建設機械等(直線搬送機等)、既設地盤上に使用する仮道用の敷地板	0	0	0
6) 敷地板③	敷地板(直線搬送機等)、既設地盤上に発生した敷地板	0	0	0
7) 橋梁等架設支工等	基礎鋼構造鋼矢板、支柱支材材、支柱受け台付橋脚鋼構造鋼矢板等	0	0	0
8) 橋梁用架設タワー等	基礎用機械器具、既設柱及び建設設備機械の輸送における自動車軌道使用料(運搬中材料等)、既設柱(構造ヘビート等)等	0	0	0
9) 橋梁用架設設備	架設材、手荷機、吊具装置等	0	0	0
10) 構造ひも取り卸し費	構造ひも取り卸し料(既設柱(構造ヘビート等)等)、既設柱(構造ヘビート等)の構造用橋脚(既設柱等)、その他の架設用タワー等	0	0	0
11) ハンネル用スライセンセル	ハンネル用スライセンセルに要した費用	0	0	0
12) 自動車軌道使用料	建設機械器具、既設柱及び建設設備機械の輸送における自動車軌道使用料(運搬中材料等)、既設柱(構造ヘビート等)等	0	0	0
13) その他①	上記①～⑪以外で発往者が車上に積み上げた費用	0	0	0
14) その他②	具体的な内容 上記①～⑪以外で発往者が車上に積み上げた費用	0	0	0
合 計		0	0	0

元請者は、赤枠部分を「実績」ファイルの「5-1_機器材運搬費_下請」シートに転記してください。

12-6-2 入力項目（5-1_機器材運搬費シート）

項目	内 容
会社名	<p>自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
1) 仮設材①	<p>型枠材、足場材、支保材（パイプサポート支保、枠組支保（くさび結合支保）、仮囲いの搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。</p> <p>注）橋梁架設に使用する枠組支保材（くさび結合支保工）の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。</p>
2) 仮設材②	鋼矢板、H形鋼、覆工板、たて込み簡易土留等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
3) 仮設材③	排砂管、トレミー管等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
4) 敷鉄板①	粉体噴射攪拌工足場材（敷鉄板）、スラリー攪拌工足場材（敷鉄板）、橋梁架設工ベント基礎（敷鉄板）等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
5) 敷鉄板②	建設機械・架設に直接関わらない、軟弱地盤上で使用する仮道用の敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
6) 敷鉄板③	『4) 敷鉄板①』及び『5) 敷鉄板②』以外で発生した敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
7) 敷鉄板④	発注者が積上げ分として計上している敷鉄板の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。 例）発注者が敷鉄板設置撤去工等で積上げた敷鉄板
8) 橋梁等架設支保工	基礎用鋼板鋼矢板、支柱支保材、支柱受け台H形鋼等の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。 注）架設支保基礎用の鋼矢板及びH形鋼の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用は、本項目に計上してください。
9) 橋梁用架設タワー等	PC橋片持ち架設工（作業車）、橋梁ベント、鋼橋架設工ケーブルクレーン設備（鉄塔等）、鋼橋架設工ケーブルエレクション設備（鉄塔等）、その他架設用タワーの搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
10) 橋梁用架設桁設備	架設桁、手延機、桁吊装置の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
11) 積み込み取り卸し費	『2) 仮設材②の鋼矢板、H形鋼、覆工板等』及び『7) 橋梁等架設支保工の基礎用鋼矢板、またはH形鋼』の積み込み取り卸しに要した費用の合計額を入力してください。
12) トンネル用スライドセントル	トンネル用スライドセントルの搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。
13) 自動車航送船使用料	建設機械器具、仮設材及び重建設機械の輸送における自動車航送船使用料（運搬中の本体賃料・損料を含む）の合計額を入力してください。
13) その他①	上記「1～13」以外の機器材の搬入、搬出並びに現場内小運搬に要した費用の合計額を入力してください。 注）発注者が積上げ分として計上している費用を入力してください。

農水

項 目	内 容
14) その他②	上記「1～14)」以外で要した費用の合計額を入力してください。 例) ダンプカー用泥落とし
合計	「1)～15)」の合計額が自動算出されます

注) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (1) 共通仮設費 イ 運搬費 A 機器材』の項目に自動計上されます。

12-7 「5-2_建設機械 I」シート 下請者の建設機械 I の運搬費内訳

自社及び再下請者における運搬費（建設機械 I の運搬に係る費用）内訳について入力します。

注 1) 工事施工に必要な『建設機械 I』の運搬に要した費用を入力してください。

『建設機械 I』とは、運搬する建設機械の大きさ、種類、または運搬方法により、**入力項目を分類したもの**です。

後述の入力内容を参考し、対象となる入力項目に注意して入力してください。

注 2) 該当する『建設機械 I』の全数について入力してください。

注 3) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-2_建設機械 I』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における運搬費（建設機械 I の運搬に係る費用）が、適正に記入されていることを確認してください。

注 4) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注 5) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 B 建設機械 I』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-7-1 入力例 (5-2_建設機械 I シート)

下請『5-2_建設機械 I』シート：例）一次下請

B-2 質量20t以上の建設機械の運搬(自走、日々回送及び現場内小運搬)について入力してください。

(注) トラッククレーン・ラチスジブ型25t吊及び油圧伸縮ジブ型80t以上の場合は「**5-3.建設機械II**」シートの「C-2」で計上してください。

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注) 破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください。



再下請『5-2_建設機械 I』シート：例）二次下請

5-2.建設機械 I	運搬費についての調査原(元外注用)	マクロ有効にしてから入力してください。
建設機械 I の運搬に係る費用について入力してください。(該当する費用がない場合は、記入不要)		
<input type="text"/> 参照基準(パケット容量(m3)) 右記を参考に「規格」欄には単位も入力してください。		
		下請負業者計 <small>(内訳解説用 料)(千円)</small>
		10
		10
		14
		14
		合計 <small>(内訳解説用 料)(千円)</small>
		14

B:建設機械 L の運搬に係る費用

B-1 審量20t未満の建設機械の運搬について記入してください

云霧導法：癡情細分主として「云霧」ファイルの「1E-3 雲霧導法」下轄シートに記載してある。

元所有者は、新規登録分すべてを「元所有」ファイルの「11-1.新規登録用」下部シートに複数してください。

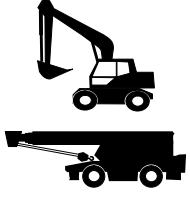
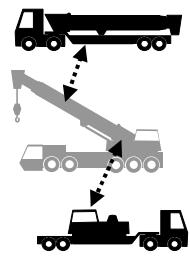
総合計	
下請負業者計	運賃費 (千円)
2次下請負業者計	10
2次下請負業者計	4
総合計	14

G工業(株)

次 B:建設機械 I の運搬に係る
問題

B-2 質量2t以上の建設機械の運搬(自走、日々回送及び施場内小運搬)について入力してください											
(注)トラッククレーンラジコン型25t吊及び油圧伸縮ラジコン型80t以上の場合は「 I-3.建設機械II 」シートの「C-2」で評してください。											
	建設機械名	機械本体質量 (t)	1)自走自動車等による運搬			2)自走による運搬		3)日々回送による運搬		4)施場内小運搬	
			運搬費 (千円)	内分担料立 費(千円)	運搬距離 (km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)	内分担料立 費(千円)	運搬距離 (km)	運搬回数 (回)	運搬費 (千円)
2	1 G工業(施)										0 0
子	2 G工業(施)										0 0
女	3 G工業(施)										0 0
2次下路負業者計											0 0
1											0 0
2											0 0
子	3										0 0
2次下路負業者計											0 0
合 計			0 0	0 0			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

12-7-2 入力項目（5-2_建設機械 I シート）

項目	内容
入力の分類	
注) 運搬する建設機械の大きさ、種類、運搬方法により、入力する項目が下記の3項目（B-1～B-3）に分類されます。	
下記の入力内容を参照し、対象となる入力項目に注意して入力してください。	
B-1 	質量 20t 未満の建設機械の運搬 （貨物自動車等による運搬、自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。）
B-2 	質量 20t 以上の建設機械の運搬 （自走による運搬、日々回送による運搬、現場内小運搬）について入力してください。（分解、組立を含みます。） 注) トラッククレーンラチスジブ型 25t 吊及び油圧伸縮ジブ型 80t 吊以上の自走による運搬については、『5-3_建設機械II』シートの項目『C-2』に入力してください。
B-3 	トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型 20～50t 吊）及びラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型 20～70t 吊）の分解、組立及び輸送について入力してください。

項目	内 容
会社名	自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。
	自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
	再下請会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
建設機械名	
選択番号	機械本体の選択番号が表示されます。(後述の入力操作方法を参照)
建設機械名	該当する機械名を選択してください。 注) 各分類の『その他(機械名フリー入力)』を選択した場合は、具体的な『建設機械名』を入力(上書き)してください。
規 格	選択した機械本体の規格(『数値』及び『単位』)を入力してください。 参考規格欄に『参考規格』が表示される場合は、それを参考に入力してください。
機械本体質量	選択した機械本体の質量を入力してください。
1) 貨物自動車等による運搬	
運搬費(千円)	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
運搬距離(km)	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬距離の合計(延べ運搬距離)を入力してください。
運搬回数(回)	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬回数の合計(延べ運搬回数)を入力してください。(運搬片道を1回とします。)
2) 自走による運搬	
運搬費(千円)	選択した機械の『自走による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『自走による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
運搬距離(km)	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬距離の合計(延べ運搬距離)を入力してください。
運搬回数(回)	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬回数の合計(延べ運搬回数)を入力してください。(運搬片道を1回とします。)

項目	内 容
3) 日々回送による運搬（現場内に機械を存置できず回送の必要があった場合です。）	
運搬費（千円）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注）『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『日々回送による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
運搬距離（km）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬距離の合計（延べ運搬距離）を入力してください。
運搬回数（回）	選択した機械の『日々回送による運搬』に要した運搬回数の合計（延べ運搬回数）を入力してください。（運搬片道を1回とします。）
4) 現場内小運搬（現場内小運搬の必要があった場合です。）	
運搬費（千円）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注）『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『現場内小運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
運搬距離（km）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬距離の合計（延べ運搬距離）を入力してください。
運搬回数（回）	選択した機械の『現場内小運搬』に要した運搬回数の合計（延べ運搬回数）を入力してください。（運搬片道を1回とします。）
5) 運搬費合計額	選択した機械の「1)～4)」の合計額が自動算出されます。

注1) 「路面清掃、ガードレール清掃、トンネル清掃、排水構造物清掃」の清掃車は、基地から現場間の回送費用のみ『直接工事費』に計上してください。

注2) 「鋼桁、門扉、PC 桁等工場製作品の運搬」、「支給品及び現場発生品の運搬」は対象外とし、別途『直接工事費』に計上してください。

注3) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 B 建設機械 I』の項目に自動計上されます。

12-7-3 入力操作方法 (5-2_建設機械 I シート)

注)『5-2_建設機械 I』シート及び『5-3_建設機械 II』シートにおいて、入力操作方法は同様の手順となります。

各シートを入力する場合は、以下の操作方法により入力してください。

ただし、以下の操作説明の貼付図は、『5-2_建設機械 I』シートです。

①入力

自社分及び再下請者分の入力欄が 50 行（50 台分）表示されています。

②建設機械名の入力

入力する建設機械名はプルタブから選択します。

プルタブに機械名がない場合は直接入力してください。

5-2_建設機械 I		運賃費についての調査表(元請外注用)							
		建設機械 I の運搬に係る費用について入力してください。(該当する費用がない場合は、記入不要)							
		参考規格: バケット容積(㎥)			左記を参考に「規格」欄には単位を入力してください。				
B-1 荷量20t未満の建設機械の運搬について入力してください。									
会社名		建設機械名		被積本 体重量 (t)	1) 貨物自動車等による運搬			2) 自走による運搬	
		建設機械名		規格	運賃費 (千円) 内分解積立 運賃距離 (km)	運賃額 (千円)	内分解積立 運賃距離 (km)	運賃費 (千円) 内分解積立 運賃距離 (km)	
次 下 調	1 A建設(株)	ルートガバナーカーポ 運転及び積込作業 運搬及び荷役の荷役機械 クレーンの荷役の荷役機械 建設工事用機械 せん孔機械及びコンクリート打撲 モーターラーダ及び路盤用機械 運送機械							
	2 A建設(株)								
	3 A建設(株)								
	4 A建設(株)								
	5 A建設(株)								
					1次下請次下請貲蓄計	0	0	0.0	
					2次下請次下請貯蓄計	0	0	0.0	
					3次下請次下請貯蓄計	0	0	0.0	

以降、選択した機械について、各項目を入力してください。

注1)『建設機械名』を入力した行は、全ての入力が完了するまで、メッセージ「運搬費を入力してください」(赤字)が表示されたままになります。費用の発生していない項目には「0」を入力してください。

12-8 「5-3_建設機械Ⅱ」シート 下請者の建設機械Ⅱの運搬費内訳

自社及び再下請者における運搬費（建設機械Ⅱの運搬に係る費用）内訳について入力します。

注1) 工事施工に必要な『建設機械Ⅱ』の運搬に要した費用を入力してください。

『建設機械Ⅱ』とは、運搬する建設機械の大きさ、種類、または運搬方法により、**入力項目**を分類したものです。

後述の入力内容を参照し、対象となる入力項目に注意して入力してください。

注2) 該当する『建設機械Ⅱ』の全数について入力してください。

注3) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『5-3_建設機械Ⅱ』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

同時に、再下請者における運搬費（建設機械Ⅱの運搬に係る費用）が、適正に記入されていることを確認してください。

注4) 自社、または再下請者の該当する建設機械が4台以上ある場合は、入力欄を追加する必要があります。

なお、入力欄追加の操作方法は、『5-2_建設機械Ⅰ』シートと同様の操作方法です。

詳細については、「P.43」の『5-2_建設機械Ⅰ』シートの入力操作方法を参照してください。

注5) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注6) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費（1）共通仮設費 イ 運搬費 C 建設機械Ⅱ』の項目に自動計上されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-8-1 入力例 (5-3_建設機械IIシート)

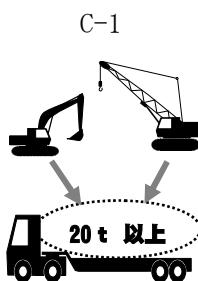
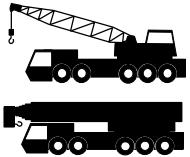
下請『5-3_建設機械Ⅱ』シート：例）一次下請

青枠内を再下請（二次下請）欄へ転記してください。

注) 破線内に下位の下請者（三次下請）の入力がある場合は、再下請（二次下請）欄に含めて転記してください。また、会社名は、再下請（二次下請）を選択してください。

再下請『5-3_建設機械Ⅱ』シート：例）二次下請

12-8-2 入力項目 (5-3_建設機械Ⅱシート)

項目	内 容
入力の分類	
C-1	<p>注) 運搬する建設機械の大きさ、種類、運搬方法により、入力する項目が下記の2項目 (C-1~C-2) に分類されます。</p> <p>下記の入力内容を参照し、対象となる入力項目に注意して入力してください。</p>  <p>質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車による運搬について入力してください。(分解、組立を含みます。)</p>
C-2	 <p>トラッククレーンラチスジブ型 25t 吊及び油圧伸縮ジブ型 80t 吊以上の自走による運搬について入力してください。(分解、組立を含みます。)</p>
C-3	<p>自走困難な場合の運搬に要する費用</p> <p>注 1) 自走が困難な場合とは、建設機械が大きい、速度が遅く一般車両と同じように走行できない等の時に、輸送・先導が必要な場合を言います。</p> <p>注 2) 機械質量は、問いません。</p>
会社名	<p>自社及び、再下請者の下請次数は、『1_一般事項』シートで選択した次数が表示されます。</p> <p>自社の会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p> <p>再下請会社名は、『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。</p>
建設機械名	
選択番号	機械本体の選択番号が表示されます。(後述の入力操作方法を参照)
建設機械名	<p>該当する機械名を選択してください。</p> <p>注) 各分類の『その他(機械名フリー入力)』を選択した場合は、具体的な『建設機械名』を入力(上書き)してください。</p>
規 格	<p>選択した機械本体の規格(『数値』及び『単位』)を入力してください。</p> <p>参考規格欄に『参考規格』が表示される場合は、それを参考に入力してください。</p>
機械本体質量	選択した機械本体の質量を入力してください。

項目	内 容
1) 貨物自動車等による運搬 注)『干拓工事に係る工事の施工に必要な船舶等の回航に要する費用』についても入力してください。	
運搬費（千円）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
内特大品割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『特大品割増費』を入力してください。
内悪路割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『悪路割増費』を入力してください。
内冬期割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『冬期割増費』を入力してください。
内深夜早朝割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『深夜早朝割増費』を入力してください。
内地区割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『地区割増費』を入力してください。
内海上輸送費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『海上輸送費』を入力してください。
内休日割増費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『休日割増費』を入力してください。
内待機時間費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『待機時間費』を入力してください。
内積込・取卸費	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、『積込・取卸費』を入力してください。
内その他諸料金	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』のうち、上記割増費以外で要した費用を入力してください。 ※その他諸料金を入力した場合、その内容についても入力してください。
運搬距離（km）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬距離の合計（ 延べ運搬距離 ）を入力してください。
運搬回数（回）	選択した機械の『貨物自動車等による運搬』に要した運搬回数の合計（ 延べ運搬回数 ）を入力してください。（運搬片道を1回とします。）
2) 自走による運搬	
運搬費（千円）	選択した機械の『自走による運搬』に要した費用の合計額を入力してください。 注)『分解組立費』を含めた金額を入力してください。
内分解組立費	選択した機械の『自走による運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
運搬距離（km）	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬距離の合計（ 延べ運搬距離 ）を入力してください。
運搬回数（回）	選択した機械の『自走による運搬』に要した運搬回数の合計（ 延べ運搬回数 ）

項 目	内 容
	を入力してください。(運搬片道を1回とします。)
3) 現場内小運搬 (特殊な現場条件等により分解・組立を必要とした場合です。)	
運搬費 (千円)	選択した機械の『内分解組立費』の合計額が自動算出されます。
内分解組立費	選択した機械の『現場内小運搬』のうち、『分解組立』に要した費用の合計額を入力してください。
4) 運搬費合計額	選択した機械の「1) ~3)」の合計額が自動算出されます。

注1) 「路面清掃、ガードレール清掃、トンネル清掃、排水構造物清掃」の清掃車は、基地から現場間の回送費用のみ『直接工事費』に計上してください。

注2) 「鋼桁、門扉、PC 枠等工場製作品の運搬」、「支給品及び現場発生品の運搬」は対象外とし、別途『直接工事費』に計上してください。

注3) 合計金額は、『6_工事費』シートの『②間接工事費 (1) 共通仮設費 イ 運搬費 C 建設機械 II』の項目に自動計上されます。

12-8-3 入力操作方法 (5-3_建設機械 II シート)

『5-2_建設機械 I』シートと同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 43」の『5-2_建設機械 I』シートの入力操作方法を参照してください。

12-9 「6_工事費」シート

自社及び再下請者における**工事費（最終実績金額）内訳**について入力します。

注1) 入力にあたっては、自社及び再下請者の下記『調査情報』を入力する必要があります。

<『調査情報』入力例及び入力項目>

		自社分欄	再下請欄																																			
工事費		公共土木請負工事の諸経費等調査(元請外注用) 会社名: A建設(株) 請負金額(税抜き) 130,100 請負金額の内、外注費 33,026 工事価格 97,074 千円																																				
外注費 内訳記入欄		会社名: F組(株) 工事価格 19,526 千円																																				
		会社名: G工業(株) 工事価格 13,500 千円																																				
		会社名: 工事価格 千円																																				
		下請工事価格合計 33,026 千円																																				
		注) 消費税抜きで記入して下さい。 (金額単位:千円)																																				
		元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「9_工事費」シートに転記してください。																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1 次下請負業者</th> <th colspan="3">2 次下請負業者</th> <th rowspan="2">総合計</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下請負者名</td> <td>自 社 分</td> <td>F組(株)</td> <td>G工業(株)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工種</td> <td>構造物・土工</td> <td>型枠工</td> <td>鉄筋工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 直接工事費</td> <td>75,286</td> <td>14,889</td> <td>10,571</td> <td>100,746</td> </tr> <tr> <td>(1) 材料費</td> <td>5,598</td> <td>250</td> <td>152</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>(2) 労務費等</td> <td>39,103</td> <td>7,223</td> <td>5,141</td> <td>51,467</td> </tr> </tbody> </table>				1 次下請負業者	2 次下請負業者			総合計	1	2	3	下請負者名	自 社 分	F組(株)	G工業(株)		工種	構造物・土工	型枠工	鉄筋工		① 直接工事費	75,286	14,889	10,571	100,746	(1) 材料費	5,598	250	152	6,000	(2) 労務費等	39,103	7,223	5,141	51,467
1 次下請負業者	2 次下請負業者			総合計																																		
	1	2	3																																			
下請負者名	自 社 分	F組(株)	G工業(株)																																			
工種	構造物・土工	型枠工	鉄筋工																																			
① 直接工事費	75,286	14,889	10,571	100,746																																		
(1) 材料費	5,598	250	152	6,000																																		
(2) 労務費等	39,103	7,223	5,141	51,467																																		

項目	内 容
自社分欄	
会社名	『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
請負金額(税抜き)	元請者、または上位の下請者からの『請負金額(税抜き)』を入力してください。
請負金額の内、外注費	再下請者がある場合は、再下請者への『外注費(税抜き)』の合計額を入力してください。
工事価格	『請負金額(税抜き)』から『請負金額の内、外注費』で入力した金額の差額が自動算出されます。 注) 自社分の工事価格の実績額と一致しているか確認してください。
下請次数	『1_一般事項』シートで入力した下請次数が表示されます。
工種	施工体制上の工事内容を入力してください。
再下請欄(再下請者がある場合です。)	
会社名	『1_一般事項』シートで入力した会社名が表示されます。
工事価格	再下請者への『外注費(税抜き)』を入力してください。 注) 再下請者からみた『請負金額(税抜き)』です。
下請工事価格合計	工事価格で入力した再下請者への『外注費(税抜き)』の合計額が自動算出されます。 注) 再下請者への外注費合計の実績額と一致しているか確認してください。
工種	施工体制上の工事内容を入力してください。

注 1) 再下請者がある場合は、再下請者から回収された調査票（下請者用）の『6_工事費』シートの内容（入力例の青枠内）を転記してください。

再下請者への『外注費』の内訳を入力することとなります。

同時に、再下請者における各費目が、適正に記入されていることを確認してください。

注 2) 自社及び再下請者において該当する費目が無い場合は、『0』を入力してください。

注 3) 入力欄について

①『自社分』欄は、自社について入力します。

（入力した値の合計が自動的に算出される項目、または他の入力シートで入力した値が表示される項目があります。）

②『再下請』欄は、再下請者各社について入力します。

（入力した値の合計が自動的に算出される項目があります。）

③『総合計』欄は、『自社分』欄及び『再下請』欄の合計が表示されます。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-9-1 入力操作方法（6_工事費シート）

①入力欄

注意事項

再下請者分が 30 列（30 社分）表示されています。

農水

12-9-2 入力例 (6_工事費シート)

<再下請者分の転記例>

下請『6_工事費』シート：例) 一次下請

公共土木請負工事の諸経費等調査(元請外注用)						
会社名:		会社名:		会社名:		会社名:
会社名: A建設(株)	請負金額(税抜き) 130,100	会社名: F組(株)	請負金額(税抜き) 19,520	会社名: G工業(株)	請負金額(税抜き) 13,500	会社名: H
請負金額の内、外注費 33,028						
工事価格 97,074	千円	工事価格 19,520	千円	工事価格 13,500	千円	工事価格 千円
						下請工事価格合計 33,028
						千円

外注費 内訳 記入欄
(注) 消費税抜きで記入して下さい
(会額単位:千円)

1 次 下請負業者	2 次 下請負業者	3 次 下請負業者	総合計	
会社名: F組(株)	会社名: G工業(株)	会社名: H		
自社分	自社分	自社分		
工種	工種	工種		
構造物・土工	構造物・土工	構造物・土工		
① 直接工事費	14,889	10,571	0	100,746
(1) 材料費	5,598	250	152	6,000
(2) 労務費等	39,103	7,223	5,141	51,467
イ 労務費	39,103	7,223	5,141	51,467
ロ 交通誘導警備員A	0	0	0	0
ハ 交通誘導警備員B	0	0	0	0
(3) 機械器具等賃料	30,585	7,416	5,278	43,279
(4) 貸与機械等設備修理・管理費(賃貸料)	0	0	0	0
(5) 直接税金	0	0	0	0
(6) 特殊経費	0	0	0	0
イ 給分費	0	0	0	0
ロ 上・下水道料金	0	0	0	0
ハ 有料道路利用料	0	0	0	0
② 開墾工事費	21,788	4,637	2,929	29,354
(1) 施工機設置費	2,625	965	468	4,058
イ 運搬費	80	15	70	165
A. 建築材	80	15	0	95
B. 施設機械 I	0	0	0	0
C. 施設機械 II	0	0	70	70
ロ 準備費	100	50	30	180
A. 測量・測量等	100	50	30	180
B. 測量等のうち、段切りに要した費用	0	0	0	0
B. その他	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	13	4	3	20
ニ 安全費	34	11	8	53
A. 安全管理費	34	11	8	53
エ 工事区域内全般の安全管理上の監理。あるいは連絡等に要した費用(稼働日の保安要員等の費用を含む)	2	0	0	2

再下請者分は、再下請者の「6_工事費」シートの青枠内を転記してください。(総合計欄を転記してください)



再下請『6_工事費』シート：例) 二次下請

公共土木請負工事の諸経費等調査(元請外注用)						
会社名:		会社名:		会社名:		会社名:
会社名: F組(株)	請負金額(税抜き) 19,520	会社名: G工業(株)	請負金額(税抜き) 13,500	会社名: H	請負金額(税抜き) 0	会社名: I
請負金額の内、外注費 0						
工事価格 19,520	千円	工事価格 13,500	千円	工事価格 0	千円	工事価格 0
						下請工事価格合計 0
						千円

外注費 内訳 記入欄
(注) 消費税抜きで記入して下さい
(会額単位:千円)

2 次 下請負業者	3 次 下請負業者	4 次 下請負業者	総合計
会社名: G工業(株)	会社名: H	会社名: I	
自社分	自社分	自社分	
工種	工種	工種	
構造物・土工	構造物・土工	構造物・土工	
① 直接工事費	14,889	0	14,889
(1) 材料費	0	0	0
(2) 労務費等	7,223	0	7,223
イ 労務費	7,223	0	7,223
ロ 交通誘導警備員A	0	0	0
ハ 交通誘導警備員B	0	0	0
(3) 機械器具等賃料	7,416	0	7,416
(4) 貸与機械等設備修理・管理費(賃貸料)	0	0	0
(5) 直接税金	0	0	0
(6) 特殊経費	0	0	0
イ 給分費	0	0	0
ロ 上・下水道料金	0	0	0
ハ 有料道路利用料	0	0	0
② 開墾工事費	4,637	0	4,637
(1) 施工機設置費	965	0	965
イ 運搬費	15	0	15
A. 建築材	15	0	15
B. 施設機械 I	0	0	0
C. 施設機械 II	0	0	0
ロ 準備費	50	0	50
A. 測量・測量等	50	0	50
B. 測量等のうち、段切りに要した費用	0	0	0
B. その他	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	4	0	4
ニ 安全費	11	11	8
A. 安全管理費	11	11	8

外注費 内訳 記入欄
(注) 消費税抜きで記入して下さい
(会額単位:千円)

2 次 下請負業者	3 次 下請負業者	4 次 下請負業者	総合計
会社名: G工業(株)	会社名: H	会社名: I	
自社分	自社分	自社分	
工種	工種	工種	
構造物・土工	構造物・土工	構造物・土工	
① 直接工事費	10,571	0	10,571
(1) 材料費	152	0	152
(2) 労務費等	5,141	0	5,141
イ 労務費	5,141	0	5,141
ロ 交通誘導警備員A	0	0	0
ハ 交通誘導警備員B	0	0	0
(3) 機械器具等賃料	5,278	0	5,278
(4) 貸与機械等設備修理・管理費(賃貸料)	0	0	0
(5) 直接税金	0	0	0
(6) 特殊経費	0	0	0
イ 給分費	0	0	0
ロ 上・下水道料金	0	0	0
ハ 有料道路利用料	0	0	0
② 開墾工事費	2,929	0	2,929
(1) 施工機設置費	468	0	468
イ 運搬費	70	0	70
A. 建築材	70	0	70
B. 施設機械 I	0	0	0
C. 施設機械 II	0	0	0
ロ 準備費	30	0	30
A. 測量・測量等	30	0	30
B. 測量等のうち、段切りに要した費用	0	0	0
B. その他	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	8	0	8
ニ 安全費	8	0	8
A. 安全管理費	8	0	8

12-9-3 入力項目 (6_工事費シート)

①直接工事費

工事費		外注費用		
会社名: A建設(株) 請負金額(税抜き) 130,100 請負金額の内、外注費 33,026 工事価格 97,074 千円	会社名: F組(株) 工事価格 19,526 千円	会社名: G工業(株) 工事価格 13,500 千円	下請工事価格合計 33,026 千円	
外注費内訳記入欄 (注)消費税抜きで記入して下さい。 (金額単位:千円)				
項目 下請負者名 工程	1次下請負業者		2次下請負業者	
	自社分	F組(株)	G工業(株)	総合計
① 直接工事費	75,286	14,889	10,571	100,746
(1) 材料費	5,598	250	152	6,000
(2) 労務費等	39,103	7,223	5,141	51,467
イ 労務費	39,103	7,223	5,141	51,467
ロ 交通誘導警備員A	0	0	0	0
ハ 交通誘導警備員B	0	0	0	0
(3) 機械器具等消耗料	30,585	7,416	5,278	43,279
(4) 貸与機械等現場修理・管理費(官貸与)	0	0	0	0
(5) 直接経費	0	0	0	0
イ 特許使用料	0	0	0	0
ロ 光熱電力使用料	0	0	0	0
(6) 特殊経費	0	0	0	0
イ 紊糾費	0	0	0	0
ロ 上・下水道料金	0	0	0	0
ハ 有利道路利用料	0	0	0	0
② 間接工事費	21,788	4,637	2,929	29,354

元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「工事費」シートに転記してください。

注1) 共通仮設費、現場管理費欄を記入するに当たっての注意

記入前に以下の「[2_社員等従業員給料等~4_労務管理費]」調査票を完成させてから、下請外注各社(次下請負者)の金額を6_工事費に入力して下さい。

元請外注各社の社員等従業員給料手当
法定福利費の内訳
元請外注各社の労務管理費の内訳
運搬費の内訳

項目	内 容
①直接工事費	<p>『直接工事費』とは、工事目的物を造るために直接必要とされる費用で、「材料費、労務費、機械器具等損料、貸与機械等の現場修理費・管理費、直接経費、特殊経費」で構成されます。</p> <p>次の「(1) ~ (6)」の合計額が自動算出されます。</p>
(1) 材料費	<p>直接工事の施工に必要な材料の費用（特殊製品、燃料、油脂、火薬、ビット、消耗部品、雑材料、雑品、雑油脂等を含む）とし、その工事で全額消費された材料費の合計額を入力してください。</p> <p>なお、各材料の購入手数料、引取運賃、荷役費、保険料等を含むものとします。</p> <p>注 1) 『鋼橋等工場製作費』及び『電気通信設備工事における機器単体費』には、本項目に計上する場合と、「⑤鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は機器単体費）」の項目に計上する場合の2種類があるので、発注者側の積算計上項目と同じ項目への計上が必要となります。</p> <p>注 2) 『鋼橋等工場製作物』及び『電気通信設備工事における機器』の運搬に要した費用は、本項目に計上してください。</p>
(2) 労務費等	<p>次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。</p>
イ 労務費	<p>直接工事（工事目的物の施工、仮設工事）の施工に従事した『労働者等の賃金（基本給、または請負賃金、割増賃金、基準内・外手当）、賞与（当該工事に相応する賞与額で臨時の手当を含む）及び実物給与等』の合計額を入力してください。</p> <p>注 1) 入力に際しては、「P.15」の『11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』を参照し、労働者の従事内容に注意して費用を計上してください。</p> <p>注 2) 直接工事の施工に従事した労働者以外の費用は計上しないでください。</p> <p>例 1) 測量、準備工に要した労務費 →『準備費』に計上してください。</p> <p>例 2) 動態観測等に要した労務費 →『技術管理費』に計上してください。</p> <p>注 3) 雇用上（元請・下請）の正社員の場合でも、直接工事に従事した者（普通作業員、重機オペレーター等）の労務費は、本項目に計上してください。</p> <p>注 4) 直接工事の施工と現場管理を兼務する者の場合は、その作業割合に応じて「労務費」と「社員等従業員給料手当」に分けて、それぞれの費用を各項目に計上してください</p> <p>注 5) 元請者が直接雇用し、支払った賃金は、元請者の労務費として計上してください。</p>
ロ 交通誘導警備員 A	<p>H28 年度以降発注工事について、交通誘導警備員 A に要した費用を入力してください。</p> <p>注) H27 以前発注工事については、安全費の欄に入力してください。</p>
ハ 交通誘導警備員 B	<p>H28 年度以降発注工事について、交通誘導警備員 B に要した費用を入力してください。</p> <p>注) H27 以前発注工事については、安全費の欄に入力してください。</p>

項目	内 容
(3) 機械器具等損料	<p>直接工事の施工に要した船舶、機械器具等（雑機械、小器材を含む）損料額（修理費、管理費を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>また、直接工事の施工に要した仮設材（鋼製・木製仮設材）のような繰返し転用される材料においても、当該工事に使用された期間の損料額を入力してください。</p> <p>注）機械器具等のリース業者へ支払う費用は、本項目に計上してください。</p> <p>なお、燃料及び労務費込みのリース料金の場合は、材料費と労務費を分けて入力する必要はありません。</p>
(4) 貸与機械等 現場修理・管理費 (官貸与)	発注者が元請者に貸与した機械器具等の現場における修理費及び管理費の合計額を入力してください。
(5) 直接経費	次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。
イ 特許使用料	<p>直接工事の施工に要した特許の使用料（派遣技術者等の費用を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>注）材料費及び機械器具等損料に含まれている場合は計上しないでください。</p>
ロ 光熱電力 使用料	<p>直接工事に消費した光熱電力の使用料の合計額を入力してください。</p> <p>注）基本料金は『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ホ 役務費 B 電力用 水等基本料』に計上してください。</p>
(6) 特殊経費	次の「イ～ハ」の合計額が自動算出されます。
イ 処分費	<p>直接工事の施工に要した産業廃棄物等の処理費（産業廃棄物税を含む）の合計額を入力してください。</p> <p>注）処分場への運搬費は『①直接工事費 (3) 機械器具等損料』に計上してください。</p>
ロ 上・下水道料金	<p>直接工事の施工に要した上・下水道の使用料の合計額を入力してください。</p> <p>注）基本料金は『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ホ 役務費 B 電力用 水等基本料』に計上してください。</p>
ハ 有料道路 利用料	直接工事の施工に要した有料道路利用料の合計額を入力してください。

②間接工事費（1）共通仮設費

（イ 運搬費・口 準備費・ハ 事業損失防止施設費・ニ 安全費）

工事費		公共土木請負工事の諸経費等調査（元請外注用）																																	
		<table border="1"> <tr> <td>会社名: A建設(株)</td> <td>会社名: F組(株)</td> <td>会社名: G工業(株)</td> <td>会社名:</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>請負金額（税抜き） 130,100</td> <td>工事価格 19,526 千円</td> <td>工事価格 13,500 千円</td> <td>工事価格</td> <td></td> <td></td> <td>下請工事価格合計 33,026 千円</td> </tr> <tr> <td>請負金額の内、外注費 33,026</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事価格 97,074 千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						会社名: A建設(株)	会社名: F組(株)	会社名: G工業(株)	会社名:				請負金額（税抜き） 130,100	工事価格 19,526 千円	工事価格 13,500 千円	工事価格			下請工事価格合計 33,026 千円	請負金額の内、外注費 33,026							工事価格 97,074 千円						
会社名: A建設(株)	会社名: F組(株)	会社名: G工業(株)	会社名:																																
請負金額（税抜き） 130,100	工事価格 19,526 千円	工事価格 13,500 千円	工事価格			下請工事価格合計 33,026 千円																													
請負金額の内、外注費 33,026																																			
工事価格 97,074 千円																																			
外 注 費 内 訳 記 入 標		注) 消費税抜きで記入して下さい。 (金額単位:千円) 元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「9.工事費」シートに転記してください。																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下請負者名 工程</th> <th rowspan="2">1 次 下 請 負 著 自 社 分</th> <th colspan="3">2 次 下 請 負 著</th> <th rowspan="2">総合計</th> </tr> <tr> <th>1 F組(株)</th> <th>2 G工業(株)</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>構造物・土木</td> <td>型枠工</td> <td>鉄筋工</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						下請負者名 工程	1 次 下 請 負 著 自 社 分	2 次 下 請 負 著			総合計	1 F組(株)	2 G工業(株)	3			構造物・土木	型枠工	鉄筋工														
下請負者名 工程	1 次 下 請 負 著 自 社 分	2 次 下 請 負 著			総合計																														
		1 F組(株)	2 G工業(株)	3																															
		構造物・土木	型枠工	鉄筋工																															
費目		2 間接工事費	21,787	4,637	2,929	0	29,353																												
(1) 共通仮設費		2,389	900	408	0	3,697																													
イ 運搬費		34	0	70	0	104																													
A 機器材		0	0	0	0	0																													
B 建設機械 I		34	0	0	0	34																													
C 建設機械 II		0	0	70	0	70																													
□ 準備費		0	0	0	0	0																													
A 準備・測量等		0	0	0	0	0																													
〔準備・測量等のうち既切りに要した費用（ため池及び堤体部を除く）〕		0	0	0	0	0																													
B その他		0	0	0	0	0																													
ハ 事業損失防止施設費		13	4	3		20																													
ニ 安全費		34	11	8	0	53																													
A 安全管理費		34	11	8	0	53																													
1) 工事区域内全般の安全管理上の運営、あるいは運行等に要した費用（稼働日の保安要員等の費用を含む）		2	0	0		2																													
2) 稼働日の保安要員等の費用 機械、装置、保管、防護等、パリケード等の安全施設等の設置、撤去、搬移に要した費用及び使用期間中の賃料等		17	0	0		17																													
3) 事故開発作業に要した費用		8	0	0		8																													
4) 交通事故作業を行なう場合における賃料等に要した費用		0	0	0		0																													
5) 保安要員の予勤に要した費用		4	0	0		4																													
6) 地川、海上工事における救命装置に要した費用		1	0	0		1																													
7) 作業着の予勤に要した費用		2	11	8		21																													
8) 長大シール等における防火安全対策に要した費用		0	0	0		0																													
9) 安全用品等の費用		0	0	0		0																													
10) みなし費用		0	0	0		0																													
11) 安全委員会等に対する費用		0	0	0		0																													
12) 空港施設等ノーリット費用		0	0	0		0																													
〔山電トータル工事の切引における原価も災害防止施設等に要する費用〕		0	0	0		0																													
13) 原価に占める割合（イニシャルにおける設備の防護对策に要する費用）		0	0	0		0																													
B 交通誘導警備員		0	0	0	0	0																													
1) 交通誘導警備員A		0	0	0		0																													
2) 交通誘導警備員B		0	0	0		0																													
C 鉄道立港安全管理		0	0	0		0																													
D 高圧ごみ予防		0	0	0		0																													
E 給路安全構造・警戒船		0	0	0		0																													
F ダム免震・監視員		0	0	0		0																													
G ドンル工事における呼吸用保護具		0	0	0		0																													
H NTT防護管設置費用		0	0	0		0																													
I 電力機防護管設置費用		0	0	0		0																													
J 道路管理者との協定により設置する安全施設（仮設信号機等）による費用		0	0	0		0																													
K 防護衣（防護ズボンまたはチャップス）		0	0	0		0																													
L 塗料や引き落とし作業における呼吸用保護具		0	0	0		0																													
M 切羽部位計測		0	0	0		0																													
N 里落物防止用器具（フルハーネス）費用		0	0	0		0																													
その他（ ）		0	0	0		0																													
O その他（ ）		0	0	0		0																													
その他（ ）		0	0	0		0																													
ホ 受務費		0	0	0	0	0																													

注 1) 共通仮設費、現場管理費欄を記入するに

注 2) 二次下請負者に外注がある場合

一次下請負者は、二次下請負各社から提出された6_工事費とともに最終6_工事費を作成する。

項目	内 容
②間接工事費	<p>『間接工事費』とは、工事目的物の出来高には直接関係ないが、各工種の施工に対して共通して使用されるものに要した費用で、「(1) 共通仮設費」及び「(3) 現場管理費」で構成されます。</p> <p>(本調査票では、「(2) 補償費」及び「(4) 機器間接費（電気通信設備工事の場合）」を含めます。)</p> <p>『(1) 共通仮設費』、『(2) 補償費』、『(3) 現場管理費』及び『(4) 機器間接費（電気通信設備工事の場合）』の合計額が自動算出されます。</p>
(1) 共通仮設費	<p>次の「イ～ヌ」の合計額が自動算出されます。</p> <p>共通仮設費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注 1) 各項目の算定にあたり、繰返し転用される仮設材及び機械器具については、当該工事で使用された期間の損料額を計上してください。</p> <p>注 2) 雇用上（元請・下請）の正社員の場合でも、共通仮設工事に従事した者（普通作業員、重機オペレーター等）の賃金は、共通仮設費の個々の項目（運搬費、準備費等）に含めて計上してください。</p>
イ 運搬費	<p>次の「A～C」の合計額が自動算出されます。</p> <p>運搬費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注）運送業者へ支払う費用は、運搬費に計上してください。</p>
A 機器材	<p>『5-1_機器材運搬費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注）入力の詳細は、「P. 34～P. 36」の『5-1_機器材運搬費』シートを参照してください。</p>
B 建設機械 I	<p>『5-2_建設機械 I』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注）入力の詳細は、「P. 38～P. 40」の『5-2_建設機械 I』シートを参照してください。</p>
C 建設機械 II	<p>『5-3_建設機械 II』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注）元請欄の入力の詳細は、「P. 44～P. 46」の『5-3_建設機械 II』シートを参照してください。</p>

項目	内 容
口 準備費	<p>次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。</p> <p>準備費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注 1) 準備、測量等に現場管理技術者（元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等、下請：主任技術者等）が従事した場合の費用は、『現場管理費の社員等従業員給料手当』で計上されることになるため、本項目では計上しないでください。</p> <p>注 2) 元請者及び下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。</p> <p>注 3) 建設副産物等の処理費用は、『①直接工事費（6）特殊経費』と重複させないでください。</p> <p>注 4) 伐開とは、雑木や小さな樹木・竹などの除去で、ブルドーザ、レーキドーザ、あるいはバックホウ等による作業です。</p> <p>注 5) 伐採とは、樹木をチェンソー等により切り倒す作業です。</p> <p>注 6) 本項目に計上した費用のうち『伐開・除根・除草等に要した費用』を「P. 73」の『⑩準備費のうち、伐開・除根・除草等に要した費用』の項目にも入力してください。</p>
A 準備・測量等	<p>1. 準備及び後片付けに要した費用について入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 着手時の準備費用 2) 施工期間中における準備、後片付け費用 3) 完成時の後片付け費用 4) 型枠及び足場等仮設資材（大型土のう袋を除く）の処分費用（建設副産物） 5) 踏み荒らしに対する復旧等に要する費用 <p>注 1) 処分費用は、再資源化施設、または最終処分場への運搬費用を含みます。</p> <p>注 2) 資機材等の空袋、空缶等の処分費用は、「A 準備・測量等」に計上して下さい。</p> <p>注 3) 大型土のう袋の処分費及び仮設道路を造成する場合等の土木シートの処分費は、「B その他」に計上して下さい。</p> <p>2. 調査、測量、丁張等に要した費用について入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 工事着手前の基準測量等の費用 2) 縦・横断面図の照査等の費用 3) 用地幅杭等の仮移設等の費用 4) 丁張の設置等の費用 5) 表土厚さ確認に要した費用（出来形管理に含むものは除く） <p>3. 準備作業に伴う、伐開（チェーンソー等による伐採作業を除く）、除根、除草による現場内の集積・積込み、及び整地、段切り、すりつけ等に要した費用について入力してください。</p> <p>注 1) 上記「3.」において、「直接工事費」に計上された分は計上しないでください。</p> <p>注 2) 上記「3.」において、『農用地造成工事』で、「伐開、除根、除草等」に要した費用は、次項の『B その他』に計上してください。</p> <p>注 3) 上記「3.」において、『ため池及びダムの堤体部』で、「段切り」に要した費用は、次項の『B その他』に計上してください。</p> <p>注 4) 上記「3.」において、「チェーンソー等による樹木の伐採作業」に要した費用は、次項の『B その他』に計上してください。</p>

項目		内 容										
		<p>A' 準備・測量等のうち、段切りに要した費用(ため池及びダム堤体部を除く)</p> <p>『A 準備・測量等』で入力した金額のうち、段切りに要した費用を入力してください。 注) ため池及びダム堤体部における段切りに係る全て(掘削・盛土等)の費用は次項の『B その他』に計上してください。</p>										
		<p>B その他</p> <p>前項の「1. ~3.」に掲げたものの他、工事の施工上必要な準備作業に要した費用を入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地下埋設部等を確認するための試掘に要した費用、コンクリート補強工事に係る設計図書の照査(補修範囲の確認等)に伴う高圧洗浄機等による洗浄作業に要する費用 2) 伐開、除根、除草等に伴い発生する建設副産物等を工事現場外に搬出する運搬の費用 3) 上記 2) で運搬した建設副産物(資源再利用)等の処理費用 注) 処理費用の入力にあたっては『処分場の受け入れ費用』、または『再資源化までの費用』を入力してください。 4) 立木の伐採、集積、積込みの費用 5) 立木の伐採に伴い発生する建設副産物等の工事現場外に搬出する運搬の費用 6) 上記 5) で運搬した建設副産物(資源再利用)等の処理費用 7) 地下埋設物調査、既設物の防護、地元説明、占用協議、交通管理者協議、設計協議等に要した費用 8) 大型土のう袋の処分に要した費用 注 1) セメント袋や通常の土のう袋及び梱包材の処分費は「A 準備・測量等の A-1 準備及び後片付に要した費用」に入力して下さい。 注 2) 資機材等の空袋、空缶等の処分費用は、「A 準備・測量等」に計上して下さい。 注 3) 上記「1) ~7)」において、「直接工事費」に計上された分は計上しないでください。 										
		<p>ハ 事業損失防止施設費</p> <p>次にあげる費用について入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を、未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要した費用 2. 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要した費用 										
		<p>ニ 安全費</p> <p>次の「A~I」の合計額が自動算出されます。</p>										
		<table border="1"> <tr> <td>A 安全管理費</td> <td>次の「1) ~10)」の合計額が自動算出されます。</td> </tr> <tr> <td>1)</td> <td>工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用(稼動日の保安要員等の費用を含む)を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>2)</td> <td>不稼動日の保安要員等の費用を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>3)</td> <td>標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>4)</td> <td>夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要した費用を入力してください。 注) 照明に要した費用のうち、工事用仮設備で計上するもの及びトンネル、ダム工事における照明設備等は、『①直接工事費』に計上してください。</td> </tr> </table>	A 安全管理費	次の「1) ~10)」の合計額が自動算出されます。	1)	工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用(稼動日の保安要員等の費用を含む)を入力してください。	2)	不稼動日の保安要員等の費用を入力してください。	3)	標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料を入力してください。	4)	夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要した費用を入力してください。 注) 照明に要した費用のうち、工事用仮設備で計上するもの及びトンネル、ダム工事における照明設備等は、『①直接工事費』に計上してください。
A 安全管理費	次の「1) ~10)」の合計額が自動算出されます。											
1)	工事区域内全般の安全管理上の監視、あるいは連絡等に要した費用(稼動日の保安要員等の費用を含む)を入力してください。											
2)	不稼動日の保安要員等の費用を入力してください。											
3)	標示板、標識、保安燈、防護柵、バリケード、照明等の安全施設類の設置、撤去、補修に要した費用及び使用期間中の損料を入力してください。											
4)	夜間工事その他、照明が必要な作業を行う場合における照明に要した費用を入力してください。 注) 照明に要した費用のうち、工事用仮設備で計上するもの及びトンネル、ダム工事における照明設備等は、『①直接工事費』に計上してください。											

項目		内 容
	5)	酸素欠乏症の予防に要した費用を入力してください。
	6)	河川、海岸工事における救命艇に要した費用を入力してください。
	7)	粉塵作業の予防に要した費用（但し、「ずい道等建設工事における粉塵対策に関するガイドライン」によるトンネル工事の粉塵発生源に係る措置の各設備は、仮設工に計上する。）を入力してください。
	8)	長大トンネル等における防火安全対策に要した費用を入力してください。
	9)	安全用品等の費用を入力してください。
	10)	安全用品等の費用（フルハーネスを除く）を入力してください。
	11)	安全委員会等に要した費用を入力してください。
	12)	架空線簡易ゲート設置に要した費用を入力してください。
	13)	「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における設備的防護対策に要した費用を入力してください。
B 交通誘導警備員等		次の「1) ~2)」の合計額が自動算出されます。
	1)	H27 年度以前発注工事について、交通誘導警備員 A に要した費用を入力してください。 注) H28 年度以降発注工事については、直接工事費『(2)労務費等』に入力してください。
	2)	H27 年度以前発注工事について、交通誘導警備員 B に要した費用を入力してください。 注) H28 年度以降発注工事については、直接工事費『(2)労務費等』に入力してください。
C 鉄道空港安全管理		鉄道、空港関係施設等に近接した工事現場における出入り口等に配置する安全管理要員等に要した費用を入力してください。
D 高圧作業予防		高圧作業の予防に要した費用を入力してください。
E 航路安全標識・警戒船		河川及び海岸の工事区域に隣接して、航路がある場合の安全標識・警戒船運転に要した費用を入力してください。
F ダム発破・監視費		ダム工事における岩盤掘削時に必要な発破・監視に要した費用を入力してください。
G トンネル工事における呼吸用保護具		トンネル工事における呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）に要した費用を入力してください。
H NTT 防護管設置費用		NTT 防護管設置に要した費用を入力してください。
I 電力線防護管設置費用		電力線防護管設置に要した費用を入力してください。
J 道路管理者との協議により設置する安全施設（仮設信号機等）に係る費用		道路管理者との協議により設置する安全施設（仮設信号機等）に要した費用を入力してください。

項目		内 容
	K 防護衣(防護ズボンまたはチャップス)	防護衣(防護ズボンまたはチャップス)に要した費用を入力してください。
	L 塗料かき落とし作業における呼吸用保護具	鉛等有害物を含有する塗料のかき落とし作業における呼吸用保護具(電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等)に要した費用を入力してください。
	M 切羽変位計測	「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」における切羽変位計測に要した費用(トンネル(NATM)の計測Aに要した費用については除く)を入力してください。
	N 墜落制止用器具(フルハーネス)費用	墜落制止用器具(フルハーネス)費用を入力してください。
	O その他()	上記「A～N」以外で、現場条件等により安全に関して要した費用を入力してください。 注) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『()』内に入力してください。

②間接工事費（1）共通仮設費

（木 役務費・へ 技術管理費・ト 営繕費・チ 現場環境改善費・リ 型コロナウイルス感染拡大防止対策費用・又 その他）

公共土木請負工事の諸経費等調査(元請外注用)																									
工事費		会社名: A建設(株) 請負金額(税抜き) 130,100 請負金額の内、外注費 33,026 工事価格 97,074 千円		会社名: F組(株) 工事価格 19,526 千円			会社名: G工業(株) 工事価格 13,500 千円		会社名: H(株) 工事価格 33,026 千円																
(注) 消費税抜きで記入して下さい。 (金額単位:千円)																									
元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「工事費」シートに転記してください。																									
外 注 費 内 記 入 標		1 次 下 請 負 業 者		2 次 下 請 負 業 者		3		下請工事価格合計		下請工事価格合計															
下請負者名		自 社 分		F組(株)		G工業(株)																			
資 本		構造物・土木		型枠工		鉄筋工																			
木 役務費		0		0		0		0		0		0													
A 土地の借上費		0		0		0		0		0		0													
B 電力用エネルギー基本料		0		0		0		0		0		0													
△ 技術管理費		335		208		7		0		550															
A 応賀管理費等		10		0		0		0		10															
B 特殊な品質管理		0		200		0		0		200															
C 現場条件費費用		300		0		0		0		300															
D 各種賃貸等		25		8		7		0		40															
E 各種台帳等		0		0		0		0		0															
F ICT建設機械		0		0		0		0		0															
G その他 ()		0		0		0		0		0															
H その他 ()		0		0		0		0		0															
ト 営繕費		1,973		677		320		0		2,970															
A 建物費		210		64		16		0		290															
1) 現場事務所等、試験室の営繕(維持・修理)に要する費用		150		50		0		0		200															
2) 労働者宿舎(寮費・旅費、接待・移動)に要する費用		60		14		16		0		90															
3) 廉直及び料理費(宿舎の営繕・運搬・維持・修理に要する費用)		0		0		0		0		0															
B 借上費		0		0		0		0		0															
労働者借上料の敷地の借上げに要した地代及び建物料 1) 建物の借上料(賃料、管理料、インゴン、賃家等)を表す。別途上げに要した費用		0		0		0		0		0															
現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の敷地 2) 建物の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに賃料(インゴン、賃家等)を表す。別途上げに要した費用		0		0		0		0		0															
C 施設費		0		0		0		0		0															
D 労働者送迎費		1,763		613		304		0		2,680															
E 監督員出所等		0		0		0		0		0															
F 通勤ト-レ費用		0		0		0		0		0															
G 快適ト-レ費用		0		0		0		0		0															
H 労働者海上輸送費		0		0		0		0		0															
I その他 ()		0		0		0		0		0															
J その他 ()		0		0		0		0		0															
チ 現場環境改善費		0		0		0		0		0															
A 仮設構体		0		0		0		0		0															
B 実績関係		0		0		0		0		0															
C 安全関係		0		0		0		0		0															
D 地域連携		0		0		0		0		0															
E その他		0		0		0		0		0															
リ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用		0		0		0		0		0															
その他 ()		0		0		0		0		0															
ヌ その他 ()		0		0		0		0		0															
ヌ その他 ()		0		0		0		0		0															
ヌ その他 ()		0		0		0		0		0															
(2) 複数表		0		0		0		0		0															

項目	内 容	
ホ 役務費	次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。	
A 土地の借上費	<p>工事を行うにあたり、必要となる土地の借上げ等に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 工事用道路、オープン掘削等で工事用地を借上げた場合等</p> <p>注 1) 上記例の他、『<u>材料置き場に係わる土地の借上に要した費用</u>』も入力してください。</p> <p>注 2) <u>現場事務所、宿舎等の設置に要する土地の借上げに要した費用</u>は、『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ト 営繕費 B 借上費』に計上してください。</p>	
B 電力用水等基本料及び電力設備用工事負担金	<p>工事を行うにあたり、必要となる電力、用水等の基本料及び電力設備用工事負担金に要した費用を入力してください。</p> <p>注) <u>現場事務所、宿舎等で使用する電力用水基本料は、②間接工事費 (3) 現場管理費 力 動力・用水光熱費に計上してください。</u></p>	
ヘ 技術管理費	<p>次の「A～G」の合計額が自動算出されます。</p> <p>技術管理費の各項目を入力する際は、下記に注意して入力してください。</p> <p>注 1) 品質管理、出来形管理及び工程管理等に要した費用を入力してください。</p> <p>注 2) <u>現場管理技術者</u>（元請：現場代理人、監理（主任）技術者、技術員等、下請：主任技術者等）が従事した場合の費用は『現場管理費の社員等従業員給料手当』に計上されることになるため、本項目では計上しないでください。</p> <p>注 3) <u>元請者及び下請者（測量業者、コンサルタント業者等）がこれらの業務を行った場合の費用（普通作業員、重機オペレーター等の賃金等）は、本項目に計上してください。</u></p>	
A 品質管理費等	<p>次にあげる費用について入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 品質管理基準に記載されている項目（必須及びその他）に要した費用 注) ため池工事については、本項目には計上せずに『C 現場条件等費用』に計上して下さい。 2. 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要した費用 例) 青焼、コピー、製本、工事写真代等 3. 工程管理のための資料作成等に要した費用 4. 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等（道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く）に要した費用 5. 建設材料の品質記録保存に要した費用 6. コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要した費用 7. <u>ひび割れ調査、テストハンマーによる強度推定調査に要した費用</u> 8. PC 上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要した費用 9. トンネル工（NATM）の計測 A に要した費用 10. 塗装膜厚施工管理に要した費用 11. 施工管理で使用した OA 機器の費用（情報共有システムに係る費用（登録料及び利用料）を含む） 12. 建設発生土情報交換システム登録に要した費用 13. 建設副産物情報交換システム登録に要した費用 	

項目		内 容
	B 特殊な品質管理	<p>品質管理基準に記載されていない項目（上記 A 以外）に要した費用</p> <p>例 1) 土質等試験：六価クロム溶出試験（セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）による） 例 2) 地質試験：構造物の地耐力試験（平板載荷試験）・ボーリング・サウンディング・その他原位置試験 <u>例 3) 溶接試験における放射線透過試験（現場）</u> <u>例 4) 管水路における水圧試験及び漏水試験</u> <u>例 5) コンクリートの単位水量測定</u></p>
	C 現場条件等費用	<p>現場条件により、設計書、特記仕様書等で指定されているものに要した費用を入力してください。</p> <p>注) ため池工事の品質管理等に要した試験費用等については、@本項目に計上して下さい。</p> <p>例 1) 軟弱地盤における計器の設置・撤去及び測定取りまとめに要した費用 例 2) 試験盛土等の工事に要した費用 例 3) トンネル（NATM）の計測 B に要した費用 例 4) 下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要した費用 例 5) 施工前に既設構造物の配筋状況の確認に用いる特別な機器（鉄筋探査器等）に要した費用 例 6) コンクリート補修工事における事前試験に要した費用</p>
	D 各種調査等	<p>各種調査等（設計書、特記仕様書等で指定されている各種調査）に要した費用を入力してください。</p> <p>例 1) 歩掛調査に要した費用 例 2) 諸経費動向調査に要した費用 例 3) ICT 活用工事施工合理化調査に要した費用 注 1) 現場事前調査等は『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費』に計上してください。 注 2) 公共事業労務費調査に要した費用は『②間接工事費（3）現場管理費 タ 公共事業労務費調査』に計上してください。</p>
	E 各種台帳等	<p>各種台帳等の作成及び修正に要した費用を入力してください。</p> <p>例 1) 道路施設台帳の作成 例 2) 道路附図の作成及び修正 例 3) 敷地調査 例 4) 路面性状調査</p>
F ICT 建設機械		<p>ICT 建設機械に要した以下の費用を入力してください。</p> <p>(1) 保守点検 (2) システム初期費 (3) 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用</p>
	G その他	<p>上記「A～F」以外で、特に技術的判断に必要な資料の作成に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 品質証明に係る費用（品質証明費） <対象とする品質証明の内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 契約図書及び関係図書に基づく出来形、品質及び写真管理等、工事全般の品質証明 2. 品質証明書の作成

項目	内 容	
ト 営繕費	次の「A～G」の合計額が自動算出されます。	
A 建物費	次の「1)～3)」の合計額が自動算出されます。	
1)	労働者宿舎の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。	
2)	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の設置・撤去、維持修繕（運搬費、電灯、水道、ガスの諸施設含む）に要した費用を入力してください。	
B 借上費	<p>「上記 A」の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。</p> <p>注 1) 『材料置き場に係わる土地の借上に要する費用を『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ホ 役務費 A 土地の借上費』に計上してください。</p> <p>注 2) 本項目に計上した費用のうち、『地代に要した費用』を「P.73」の『⑨営繕費のうち、地代に要した費用』の項目にも入力してください。</p>	
1)	労働者宿舎の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。	
2)	現場事務所、試験室、倉庫、材料保管場所等の敷地の借上げに要した地代及び建物を建築する代わりに貸ビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用を入力してください。	
C 宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊した場合に要した費用を入力してください。	
D 労働者送迎費	<p>労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送（水上輸送を含む）をするために要した費用（運転手賃金、車両損料、燃料費等含む）を入力してください。</p> <p>注 1) 労働者へ交通費を支給した場合の費用は、『②間接工事費 (3) 現場管理費 イ 労務管理費』に計上してください。</p> <p>注 2) 水上輸送に要した費用は、『②間接工事費 (1) 共通仮設費 ト 営繕費 F 労働者海上輸送費』に計上してください。</p>	
E 監督員詰所等	<p>監督員詰所、火薬庫類の営繕（設置・撤去、維持・補修）に要した費用及び敷地の借上げに要した地代を入力してください。</p> <p>また、火薬庫、火工品庫の火薬類盗難防止の万全を期すための保安費（夜間巡回等の見張員）に要した費用を入力してください。</p> <p>注) 本項目に計上した費用のうち、『地代に要した費用』を「P.73」の『⑨営繕費のうち、地代に要した費用』の項目にも入力してください。</p>	
F 通常トイレ費用	通常トイレに要した費用を入力してください	
G 快適トイレ費用	快適トイレに要した費用を入力してください（快適トイレの機能を満たしたトイレのみ対象）。	
H 労働者海上輸送費	<p>労働者の海上輸送に要した費用を入力してください。</p> <p>労働者が作業船等に同乗した場合についても、労働者海上輸送費に入力して下さい。</p>	

項目			内 容
		I その他 ()	上記「A～H」以外で、工事施工上必要な営繕に要した費用を入力してください。 注) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『()』内に入力してください。
		チ 現場環境改善費	次の「A～E」の合計額が自動算出されます。
		A 仮設備関係	次にあげる費用について入力してください。 1. 用水・電力等の供給設備 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減 7. その他
		B 営繕関係	次にあげる費用について入力してください。 1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘導警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等 6. 快適トイレ（共通仮設費の営繕費において、積上げ金額を越える場合） 7. その他
		C 安全関係	次にあげる費用について入力してください。 1. 工事標識・照明等安全施設の現場環境改善（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策 4. その他
		D 地域連携	次にあげる費用について入力してください。 1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事 PR 看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献 10. その他
		E その他	上記「A～D」以外で要した費用を入力してください。
	リ	新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	共通仮設費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。
	ヌ	その他 ()	共通仮設費に含まれるものであって、上記「イ～ト」以外で要した費用を入力してください。 注) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『()』内に入力してください。

②間接工事費・(2) 補償費・(3) 現場管理費・(4) 機器間接費

		請負金額(税抜き)	会社名:	会社名:	会社名:	
		130,100 33,026 97,074 千円	F組(株)	G工業(株)		下請工事価格合計 33,026 千円
外注費 内訳記入欄		注) 消費税抜きで記入して下さい。 (金額単位:千円)				
元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「9.工事費」シートに転記してください。						
下請負者名	工種	1次下請負業者	2次下請負業者	3次下請負業者	総合計	
		自社分	F組(株)	G工業(株)		
		構造物・土木	型枠工	鉄筋工		
費目	(2) 補償費	0	0	0	0	
	(3) 現場管理費	19,398	3,737	2,521	0	25,656
	イ 労務管理費	0	0	0	0	0
	A 募集・解散費	0	0	0	0	0
	B 慰安・休業・厚生費	0	0	0	0	0
	C 作業被服費	0	0	0	0	0
	D 賃金以外の食事、通勤等に要する費用	0	0	0	0	0
	E 災害時負担費用	0	0	0	0	0
	ロ 安全訓練等費用	237	72	51	0	360
	A 安全・衛生に要した費用	237	72	51	0	360
	B 研修訓練等に要した費用	0	0	0	0	0
	C 外国人労働者の技能習熟に要した費用	0	0	0	0	0
	ハ 租税公課	0	0	0	0	0
	ニ 社員等従業員給料手当	3,960	1,037	478	0	5,475
	ホ 退職金	66	20	14	0	100
	ヘ 保険料	244	0	71	0	315
	A 火災保険	62	0	71	0	133
	B 工賃保険	100	0	0	0	100
	C 自動車保険	20	0	0	0	20
	D 結立保険	0	0	0	0	0
	E その他労災保険(法定外を含む)	42	0	0	0	42
	F その他損害保険	20	0	0	0	20
	ト 法定福利費	11,254	2,202	1,573	0	15,029
	A 労災保険料	0	0	0	0	0
	B 雇用保険料	580	112	80	0	772
	C 健康保険料(介護保険料を含む)	2,890	809	578	0	4,277
	D 厚生年金保険料(完重要手当を除き含む)	6,405	1,281	915	0	8,601
	E 連絡共制度掛金	0	0	0	0	0
	F 船舶保険料(介護保険料を含む)	1,379	0	0	0	1,379
	チ 福利厚生費	197	60	43	0	300
	リ 補償費	0	0	0	0	0
	ヌ 通勤交通費	170	20	10	0	200
	ル 交際費	0	0	0	0	0
	ヲ 事務用品費	0	0	0	0	0
	ワ 勤力・用水光熱費	0	0	0	0	0
	カ 工事実績登録費	0	0	0	0	0
	ミ 公共事業労務賃調査	0	0	0	0	0
	タ その他(天候予報ノイズ費用)	0	0	0	0	0
	レ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用	0	0	0	0	0
	ソ その他()	0	0	0	0	0
	シ その他()	0	0	0	0	0
	モ その他()	0	0	0	0	0
	ツ 外注料費(外注一般管理費等)	3,270	326	281	0	3,877
(4) 機器間接費		0	0	0	0	0
	イ 技術者間接費 (電気通信設備工事の場合)					0
	ロ 機器管理費 (電気通信設備工事の場合)					0
(3) 外注費						

注1) 共通設営費、現場管理費欄を記入するに

→「4.労務管理費」シートの各合計額が自動転記されます。

→「2.社員等従業員給料等」シートの各合計額が自動転記されます。

→「3.法定福利費」シートの各合計額が自動転記されます。

→「自社分」列は、自社分の一般管理費等が自動算出されます。

「再下請」列は、再下請者の外注一般管理費等が自動算出されます。

項目	内 容
(2) 補償費	<p>工事の施工に伴う下記の物件等の補償費で、発注者が積算計上した補償費について実際に要した費用を計上してください。</p> <p>例) 家屋の損壊補償、沈下補償、漏水補償、井戸の枯渇補償、等</p> <p>注) 積算計上されていない場合は、『②間接工事費 (3) 現場管理費リ 補償費』に計上してください。</p> <p>入力にあたっては、『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p> <p>原則として補償に要した費用を計上しますが、物件補償の場合でも、その評価額を入力してください。</p>
(3) 現場管理費	<p>次の「イ～レ」の合計額が自動算出されます。</p>
イ 労務管理費	<p>『4_労務管理費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 31」の『4_労務管理費』シートを参照してください。</p>
ロ 安全訓練等費用	<p>次の「A 及び B」の合計額が自動算出されます。</p>
A 安全・衛生に要した費用	<p>安全・衛生に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 安全訓練費、安全大会、作業手順会等</p>
B 研修訓練等に要した費用	<p>研修訓練等に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育、工事内容等の周知徹底、工事における災害対策訓練費等</p>
C 外国人労働者の技能実習に要した費用	<p>研修訓練等に要した費用のうち、外国人労働者の技能実習に要した費用を入力してください。</p> <p>例) 外国人労働者の技能実習、現場マニュアルの多言語化等に要する費用 等</p>
ハ 租税公課	<p>印紙類代、自動車税及び固定資産税に要した費用を入力してください。</p> <p>注) 『①直接工事費 (3) 機械器具等損料 (ダンプトラック、建設機械等)』に計上された自動車税及び固定資産税は計上しないでください。</p>
ニ 社員等従業員給料手当	<p>『2_社員等従業員給料等』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注 1) 入力に際しては、「P. 15」の『11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』を参照し、労働者の従事内容に注意して費用を計上してください。</p> <p>注 2) 入力の詳細は、「P. 18～P. 21」の『2_社員等従業員給料等』シートを参照してください。</p>
ホ 退職金	<p>社員等従業員に対する退職金、退職給与引当金繰入額及び中小企業退職金共済法掛金事業主負担額を入力してください。</p>
ヘ 保険料	<p>次の「A～F」の合計額が自動算出されます。</p> <p>注 1) 『①直接工事費 (3) 機械器具等損料』に計上された保険料は計上しないでください。</p> <p>注 2) 還付金がある場合は、差し引いてください。</p> <p>注 3) 個人事業主の法定外労災上乗せ分については、『E 法定外の労災保険』に計上してください。</p>
A 火災保険	調査対象工事に要した火災保険料を入力してください。

項目	内 容
B 工事保険	調査対象工事に要した工事保険料を入力してください。
C 自動車保険	調査対象工事に要した自動車保険料を入力してください。
D 組立保険	調査対象工事に要した組立保険料を入力してください。
E その他労災保険 (法定外を含む)	調査対象工事に要したその他労災保険料 (法定外を含む) を入力してください。
F その他損害保険	調査対象工事に要したその他の損害保険料を入力してください。
ト 法定福利費	<p>次の「A～F」の合計額が自動算出されます。 注) 労災保険(特別加入)は、『A 労災保険料』に計上してください。</p>
A 労災保険料	<p>『3_法定福利費』シートで入力した各項目の金額が自動計上されます。</p> <p>注) 入力の詳細は、「P. 22～P. 24」の『3_法定福利費』シートを参照してください。</p>
B 雇用保険料	同 上
C 健康保険料 (介護保険料を含む)	同 上
D 厚生年金保険料 (児童手当拠出金を含む)	同 上
E 建退共制度掛金	同 上
F 船員保険料 (介護保険料を含む)	同 上
チ 福利厚生費	社員等従業員に対する慰安、娯楽、厚生、貸与被服、健康診断、医療、文化活動、慶弔見舞等に要した費用、厚生年金上乗せ給付分 (厚生年金基金、個人事業主の国民年金基金等)、及び社員等従業員の団体傷害保険料 (還付金等は除く) のうち、事業主負担額を入力してください。
リ 補償費	<p>工事の施工に伴って通常発生した物件等の毀損の補修及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費で、緊急的な応急措置及び簡易復旧にかかる費用を入力してください。</p> <p>注 1) 巨額な補償が生じる等、発注者と協議し積算対象となったものについては『②間接工事費(2) 補償費』に計上してください。</p> <p>注 2) 受注者の責による補償費は計上しないでください。</p>
ヌ 通信交通費	社員等従業員が本支店等に出張した旅費、発注者等への連絡交通費、及び電話、郵便等の通信費に要した費用を入力してください。
ル 交際費	得意先、来客の応待費、慶弔見舞等に要した費用を入力してください。
ヲ 事務用品費	事務用消耗品類の購入費及び新聞、参考図書、雑誌等の購入費を入力してください。

項目	内 容
ワ 動力 ・用水光熱費	事務所、宿舎等で使用された電力、水道、ガス等の費用（基本料金を含む）を入力してください。
カ 工事実績 登録費	入力不要の項目です。
ヨ 公共事業 労務費調査	公共事業労務費調査に要した費用を入力してください。
タ その他（天候 デリバティブ 費用）	天候デリバティブ※に要した費用を入力してください。 ※契約時に所定の契約料を支払うことで、観測期間中に測定された対象指標（降雪量等）が、約定した条件に合致した場合に一定の金額（決済金）を支払う金融派生商品
レ 新型コロナウ イルス感染拡 大防止対策費 用	現場管理費に含まれるものであって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用を入力してください。
ソ その他 （ ）	現場管理費に含まれるものであって、上記「イ～ヨ」以外で要した費用を入力してください。 注1) 費用を計上した具体的な内容を、本項目欄の『()』内に入力してください。 例) 雑貨費、社内打合せ等の費用、諸団体会費、等
ツ 外注経費（外 注一般管理費 等）	『工事価格（税抜き工事請負金額）』から『工事実績額』を差し引いた金額が自動算出されます。 注) 本調査票における『外注経費（外注一般管理費等）』は、下請者（自社）及び再下請者（外注）の『一般管理費等』をいいます。 自社分欄に下請者（自社）の『一般管理費等』が自動算出されます。また、再下請欄に再下請者（外注）の『一般管理費等』が自動算出されます。 本調査票における『外注経費（外注一般管理費等）』は、下記算出式より求まります。 『外注経費（外注一般管理費等）』 = 『⑦工事価格』 - 『①直接工事費』 + 『②(1) 共通仮設費』 + 『②(2) 補償費』 + 『②(3) 現場管理費 イ～タ の各項目 の合計』 + 『②(4) 機器間接費』 + 『⑤鋼橋等工場製作費』 + 『⑥別途調査等工事価格』) 注1) 『工事実績額』が『工事価格（税抜き工事請負金額）』より上回る場合は、マイナスの金額となります。 注2) 本項目に表示される外注経費（外注一般管理費等）の自動計算 値は、各項目（直接工事費、共通仮設費等）で入力した金額を 基に、上記算出式から求まる金額が表示されます。 入力した各項目の金額に間違いないかを確認するための金額で す。
(4) 機器間接費 (電気通信設備工事 の場合)	次の「イ及びロ」の合計額が自動算出されます。 注) 電気通信設備工事において、機器間接費が発生した場合のみ入力 してください。

項目	内 容
イ 技術者間接費	<p>技術者間接費の費用を入力してください。</p> <p>技術者間接費は、機器の調整及びシステム・インテグレーションのために製作工場等から派遣される技術者等に対する、製作工場等にかかる経費で以下の費用を含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従業員給与手当（当該製作工場等の間接部門の従業員（以下、「間接部門従業員」という。）の給料、諸手当及び賞与） 2. 退職金（間接部門従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰込額） 3. 法定福利費（間接部門従業員に係る労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額） 4. 福利厚生費（間接部門従業員に係る慰安娛樂、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用） 5. 補助材料及び工場消耗品費 6. 事務用品費 7. 通信交通費 8. 雑費（1から7までに属さない諸費用）
ロ 機器管理費	<p>機器管理費の費用について入力してください。</p> <p>機器管理費は、工事施工にあたって機器の調達、機器の施工現場での適切な管理等に要する経費で以下の費用を含みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機器の施工現場における管理にかかる費用（機器の施工現場内での保管における必要な安全施設、安全管理及び運搬等に要する費用） 2. 技術管理に要する費用（機器の品質管理のための施工現場における試験・検査及び試運転等に要する費用） 3. 保険料（機器の施工現場内における火災保険、損害保険等の保険料） 4. 機器の調達に要する費用（機器の調達、製作の調整等に要する費用） 5. 訓練等に要する費用（機器の操作運用に関して発注者等への教育訓練に要する費用） 6. 機器製作期間中の現場経費（機器製作期間がある場合に期間中の施工現場の安全管理等に要する費用） 7. 事務用品費 8. 通信交通費 9. 雑費（1から8に属さない諸経費）

農水

③外注費 ~ ⑬下請労働者延人員と作業日数

公共土木請負工事の諸経費等調査(元請外注用)																																																									
会社名: A建設(株) 請負金額(税抜き) 130,100 請負金額の内、外注費 33,026 工事価格 97,074 千円		会社名: F組(株) 工事価格 19,526 千円		会社名: G工業(株) 工事価格 13,500 千円																																																					
				会社名: 工事価格 下請工事価格合計 33,026 千円																																																					
外注費内訳記入欄 <small>(注)消費税を含めて記入してください。</small>																																																									
(金額単位:千円)																																																									
元請者は、赤枠部分を「元請」ファイルの「9.工事費」シートに転記してください。																																																									
1 次下請負業者 下請負業者名 自社 分工 項目		2 次下請負業者 F組(株) G工業(株)		総合計																																																					
① 外注費 ⑤ 鋼構等工場作業費 (電気通信設備工事の場合は、機器運搬費) ⑥ 別途請求等工事価格 ⑦ 工事価格		1 0 1 97,074		2 0 0 19,526																																																					
				3 0 0 13,500																																																					
				0 0																																																					
				1 130,100																																																					
⑧ 施工処理費等において、処理費以外に要した費用 ⑨ 常備費のうち、始代に要した費用 ⑩ 常備費のうち伐間・除根・除草等に要した費用																																																									
⑧ 施工処理費等において、処理費以外に要した費用 ⑨ 常備費のうち、始代に要した費用 ⑩ 常備費のうち伐間・除根・除草等に要した費用		0 0 0		0 0 0																																																					
⑪ 下請負業者の数 ⑫ 2次下請負業者の外注経費(外注一般管理費等)の合計 ⑬ 2次下請負業者への発注工事価格の合計																																																									
⑪ 下請負業者の数 ⑫ 2次下請負業者の外注経費(外注一般管理費等)の合計 ⑬ 2次下請負業者への発注工事価格の合計		2 418 32,764																																																							
注1) 共通仮設費、現場管理費額を記入するに																																																									
注2) 下請権(黄色部分)は、下位の下請業者数を記入してください。(二次下請の下請権(黄色部分)は、下位の外注一般管理費等を記入してください。(三次下請の下請権(黄色部分)は、下位への外注額の合計を記入してください。																																																									
注3) 下請労働者延人員と作業日数																																																									
(単位:人日及び日)																																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>1,878</th> <th>372</th> <th>287</th> <th>2,537</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 労働者延人員</td> <td>1,878</td> <td>372</td> <td>287</td> <td>2,537</td> </tr> <tr> <td>(2) (1)のうち通常労働者延人員</td> <td>835</td> <td>122</td> <td>98</td> <td>1,055</td> </tr> <tr> <td>(3) 交通誘導警備員A班人員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(4) 交通誘導警備員B班人員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(5) 技能開発等従事者延人員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(6) 技術事務開発社員等従事者延人員</td> <td>122</td> <td>28</td> <td>13</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>(7) 作業日数</td> <td>253</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>453</td> </tr> <tr> <td>(8) 延べ人日合計(1)+(2)+(4)+(5)+(6)</td> <td>2,000</td> <td>400</td> <td>300</td> <td>0</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>(9) 従事者延べ人日(3.法定福利費の入力値)</td> <td>2,000</td> <td>400</td> <td>300</td> <td>0</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>							1,878	372	287	2,537	(1) 労働者延人員	1,878	372	287	2,537	(2) (1)のうち通常労働者延人員	835	122	98	1,055	(3) 交通誘導警備員A班人員	0	0	0	0	(4) 交通誘導警備員B班人員	0	0	0	0	(5) 技能開発等従事者延人員	0	0	0	0	(6) 技術事務開発社員等従事者延人員	122	28	13	163	(7) 作業日数	253	100	100	453	(8) 延べ人日合計(1)+(2)+(4)+(5)+(6)	2,000	400	300	0	2,700	(9) 従事者延べ人日(3.法定福利費の入力値)	2,000	400	300	0	2,700
	1,878	372	287	2,537																																																					
(1) 労働者延人員	1,878	372	287	2,537																																																					
(2) (1)のうち通常労働者延人員	835	122	98	1,055																																																					
(3) 交通誘導警備員A班人員	0	0	0	0																																																					
(4) 交通誘導警備員B班人員	0	0	0	0																																																					
(5) 技能開発等従事者延人員	0	0	0	0																																																					
(6) 技術事務開発社員等従事者延人員	122	28	13	163																																																					
(7) 作業日数	253	100	100	453																																																					
(8) 延べ人日合計(1)+(2)+(4)+(5)+(6)	2,000	400	300	0	2,700																																																				
(9) 従事者延べ人日(3.法定福利費の入力値)	2,000	400	300	0	2,700																																																				

項目	内 容
③外注費	入力不要の項目です。
⑤鋼橋等工場製作費 (電気通信設備工事の場合は、機器単体費)	<p>鋼橋等工場製作費（電気通信設備工事の場合は、機器単体費）の費用を入力してください。 『鋼橋等工場製作費』とは、鋼桁、門扉、ポンプ等の当該工場製作にかかる費用（直接工事費、間接労務費及び工場管理費）です。 『機器単体費』とは、製造工場で作られ、その製品が製造工場で、性能・機能等の確認（品質証明が得られる）がなされ、据付現場において内部の加工等を必要としない機器の費用（直接製作費、二次労務費、工場管理費及び一般管理費等）です。</p> <p>注 1) 発注者にて工場製作費として積算計上されているものを計上し、入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p> <p>注 2) 工場製作品であっても、発注者にて工場製作費として積算計上していない場合は、『①直接工事費（1）材料費』に計上してください。</p> <p>注 3) 工場製作物及び機器の製作工場所在地から工事現場までの輸送費は、『①直接工事費（1）材料費』に計上してください。</p>
⑥別途調査等工事価格	<p>当該工事の中に「調査・設計業務等」が含まれている場合は、費用を入力してください。</p> <p>例) 地質調査、構造物詳細設計、爆弾探査工事等</p> <p>注 1) 土木積算基準以外で積算計上されているものが本項目に該当します。 土木工事とは別の費用を『一括計上』、『建築工事一式』等として本項目に積算計上されている場合も、本項目に該当します。</p> <p>注 2) 発注者側で積算計上されているものを計上してください。 入力にあたっては、本項目の『積算計上の有無』を発注者に確認してください。</p>
⑦工事価格	<p>自社分欄及び再下請欄とも、「P. 49」の『調査情報』入力項目の『工事価格』が表示されます。</p> <p>注) 自社分欄及び再下請欄とも、工事価格の実績額と一致しているか確認してください。</p> <p>修正が必要な場合は、「P. 49」の『調査情報』入力項目を修正してください。</p>
⑧廃材処理等において、処分費以外に要した費用	<p>廃材の処理等において、処分費以外に要した費用を入力して下さい。</p> <p>例 1) マニフェストの購入代金及び記入、整備に要した人件費等</p> <p>例 2) 産業廃棄物収集・運搬・処分の契約時に要した印紙代等</p> <p>例 3) 追跡調査及び立会等に要した人件費、交通費等</p>
⑨営繕費のうち、地代に要した費用	<p>『②間接工事費（1）共通仮設費 ト 営繕費 B 借上費 及び E 監督員詰所等』で入力した金額のうち、『地代に要した費用』を入力してください。</p>
⑩準備費のうち、伐開・除根・除草等に要した費用	<p>『②間接工事費（1）共通仮設費 ロ 準備費』で入力した金額のうち、『伐開、除根、除草等に要した費用』を入力してください。</p>
⑪二次下請負者の数	<p>自社及び再下請者について、下位下請者の数を入力してください。</p> <p>例) 一次下請者は、使用した二次下請者の数を入力。 二次下請者は、使用した三次下請者の数を入力。</p>

項目	内 容
⑫二次下請負者の外注経費（外注一般管理費等）の合計	自社及び再下請者について、下位下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力してください。 例) 一次下請者は、使用した二次下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力。 二次下請者は、使用した三次下請者の『外注経費（外注一般管理費等）』の合計額を入力。
⑬二次下請負者への発注工事価格の合計	自社及び再下請者について、下位下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力してください。 例) 一次下請者は、使用した二次下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力。 二次下請者は、使用した三次下請者への『工事価格（外注費）』の合計額を入力。
⑭下請労働者延人員と作業日数	調査対象工事に従事した者の延人員数及び従事した作業日数を（1）～（7）に入力してください。 注1) 延実人員とは、1人の従事者が1時間でも作業すれば『1人／1日』としてください。また、15時間作業しても『1人／1日』としてください。 注2) 下記（1）、（3）、（4）、（5）、（6）の合計人数は、当該工事に従事した全体の『延実人員数』となるので、脱落のないように入力してください。
(1) 労働者延人員	直接、肉体的労働を伴って工事施工に従事した労働者（世話役、普通作業員、鳶工、大工、重機オペレーター等）の延人員を入力してください。 注) 「P.15」の『11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『労働者』が該当します。
(2) (1) のうち通勤労働者延人員	『(1) 労働者延人員』のうち、通勤労働者の延人員を入力してください。
(3) 交通誘導警備員 A 延人員	『①直接工事費 ②労務費 交通誘導警備員 A』で費用を計上した場合、『交通誘導警備員 A』の延人員を入力してください。 注) 『交通誘導警備員 A』とは、警備業者の警備員（警備業法第2第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員、または二級検定合格警備員をいいます。
(4) 交通誘導警備員 B 延人員	『①直接工事費 ②労務費 交通誘導警備員 B』で費用を計上した場合、『交通誘導警備員 B』の延人員を入力してください。 注) 『交通誘導警備員 B』とは、警備業者の警備員で、『交通誘導警備員 A 以外』の交通誘導に従事する者をいいます。
(5) 技能関係等従事者延人員	測量、地質調査、試験等の技能業務（測量技師、試験員等）に従事した延人員を入力してください。 注1) 「P.15」の『11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『技能関係等従事者』が該当します。 注2) 測量、地質調査、試験等を現場管理的業務の技術者（現場代理人等）が実施した場合は、『(6) 技術・事務関係社員等従業員延人員』に計上してください。

項目	内 容
(6) 技術・事務関係 社員等従業員延人員	所長及び現場管理を行っている技術者、もしくは夜警員、倉庫番、食事係、連絡車の運転手等の特定業務・臨時業務に従事した延人員を入力してください。 注)「P.15」の『11 入力上の用語及び費用の取り扱いについて』の用語『社員等従業員』が該当します。
(7) 作業日数	自社及び再下請者について、調査対象工事に従事した作業日数を入力してください。
(8) 延べ人員合計	上記(1), (3), (4), (5), (6)の『合計延べ人員』が自動計算されます。
(9) 従事者延べ人員	『3_法定福利費』の法定福利費内訳書で入力した『従事者延べ人数』が表示されます。 注) (8)と(9)は一致するように人員数を入力してください。

12-10 「7-1_品質管理」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 A 品質管理費等』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 63」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 A 品質管理費等』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-1_品質管理』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 再下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 A 品質管理費等』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 A 品質管理費等』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-10-1 入力項目（7-1_品質管理シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 A 品質管理費等』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。 注）『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-1_品質管理』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
③	『品質管理基準に記載されている項目』についての詳細内訳を入力してください。 注）入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。
④	入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。 注）一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。

農水

12-10-2 入力例 (7-1_品質管理シート)

項目④

品質管理についての調査票	入力の確認	OK
A 品質管理費等(品質管理、出来形管理、工程管理)に要した費用		

自社分	外注分
「0_工事費シートの「技術管理費 A品質管理費等」に入力されている金額 100 A1	0 B1

上記金額の内訳を入力してください。

自社分	外注分
項目	金額(千円)
① 品質管理基準に記載されている試験項目(必須・その他)に要する費用 100	0
② 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用 0	0
③ 工程管理のため資料の作成等に要する費用 0	0
④ 完成図、マイクロフィルムの作成及び電子納品等(道路工事完成図等作成要領に基づく電子納品を除く)に要する費用 0	0
⑤ 建設材料の品質記録保存に要する費用 0	0
⑥ コンクリート中の塗化物総量規制に伴う試験に要する費用 0	0
⑦ PC上部工、アンカーエ等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用 0	0
⑧ トンネル工(NATM)の計測Aに要する費用 0	0
⑨ 塗装膜厚施工管理に要する費用 0	0
⑩ 溶接工の品質管理のための試験等に要する費用(現場溶接部の検査費用を含む) 0	0
⑪ 施工管理で使用するOA機器の費用(情報共有システムに係る費用(登録料及び利用料)を含む) 0	0
⑫ 品質証明に係る費用(品質証明費) 0	0
⑬ 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用 0	0
100 A2	0 B2

A-1 上記①品質管理基準に記載されている項目」等の内訳表

自社分	外注分		
工種	種別	試験項目	金額(千円)
01コンクリート	材料	セメントの物理試験	100

項目①

項目②

項目③

12-10-3 入力操作方法 (7-1_品質管理シート)

注) 『7-1_品質管理』シートから『7-5_各種台帳』シートの各シートにおいて、内訳詳細項目の入力操作方法は同様の手順となります。

上記の各シートの内訳詳細項目を入力する場合は、以下の操作方法により入力してください。

注 1) 以下の操作説明の貼付図は、『7-1_品質管理』シートです。

注 2) 該当する各シートの内訳詳細項目は、『7-1_品質管理』シートでは『項目③』、『7-2_特殊な品質管理』シートから『7-5_各種台帳』シートでは『項目②』となります。

①入力項目名の選択

工種、種別、試験区分、試験項目の順にプルタブから選択してください。

試験項目がプルタブにない場合は直接入力してください。

注) 上から順に選択してください。

A-1 上記①品質管理基準に記載されている項目等の内訳表				
自社分				
工種	種別	試験区分	試験項目	金額(千円)
01セメント・コンクリート	材料	その他	セメントの物理試験	100
02セメント・コンクリート				
03ブロック・セメント				
04ブリキヤスコンクリート製				
05ガラス瓦				
06瓦斯瓦				
07下層地盤				
08上層地盤				
				100

外注分				
工種	種別	試験区分	試験項目	金額(千円)
				0

12-11 「7-2_特殊な品質管理」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 B 特殊な品質管理』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 B 特殊な品質管理』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-2_特殊な品質管理』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 再下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 B 特殊な品質管理』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 B 特殊な品質管理』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-11-1 入力項目（7-2_特殊な品質管理シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 B 特殊な品質管理』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-2_特殊な品質管理』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-11-2 入力例 (7-2_特殊な品質管理シート)

【「特殊な品質管理」の入力内容】																																																	
<p>品質管理基準に記載されていない項目に要した費用を入力してください。</p> <p>例1) 土質等試験: 六価クロム溶出試験(セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)による)</p> <p>例2) 地質試験: 構造物の地耐力試験(平板載荷試験)・ボーリング・サウンディング・その他原位置試験</p> <p>例3) 溶接試験における放射線透過試験(現場)</p> <p>例4) 管水路における水圧試験及び漏水試験</p> <p>例5) コンクリートの単位水量測定</p>																																																	
【「7-2_特殊な品質管理」シート】																																																	
<table border="1"> <tr> <td>技術管理費についての調査票</td> <td>入力の確認</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B 特殊な品質管理に要した費用</td> </tr> <tr> <td>『6.工事費』シートの「技術管理費 B特殊な品質管理」に入力されている金額</td> <td>自社分 0 A1</td> <td>外注分 200 B1</td> </tr> </table>		技術管理費についての調査票	入力の確認	OK	B 特殊な品質管理に要した費用			『6.工事費』シートの「技術管理費 B特殊な品質管理」に入力されている金額	自社分 0 A1	外注分 200 B1	項目③																																						
技術管理費についての調査票	入力の確認	OK																																															
B 特殊な品質管理に要した費用																																																	
『6.工事費』シートの「技術管理費 B特殊な品質管理」に入力されている金額	自社分 0 A1	外注分 200 B1																																															
<table border="1"> <tr> <td colspan="3">上記金額の内訳を入力してください。</td> </tr> <tr> <td>内訳合計</td> <td>0 A2</td> <td>内訳合計</td> <td>200 B2</td> </tr> <tr> <td>自社分</td> <td></td> <td>外注分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>試験項目</td> <td>金額(千円)</td> <td>分類</td> <td>試験項目</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>地質試験</td> <td>六価クロム溶出試験</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		上記金額の内訳を入力してください。			内訳合計	0 A2	内訳合計	200 B2	自社分		外注分		分類	試験項目	金額(千円)	分類	試験項目	金額(千円)				地質試験	六価クロム溶出試験	200																									項目①
上記金額の内訳を入力してください。																																																	
内訳合計	0 A2	内訳合計	200 B2																																														
自社分		外注分																																															
分類	試験項目	金額(千円)	分類	試験項目	金額(千円)																																												
			地質試験	六価クロム溶出試験	200																																												
		項目②																																															

12-11-3 入力操作方法 (7-2_特殊な品質管理シート)

『7-2_特殊な品質管理』シートの『項目②』を入力する際の操作方法は、『7-1_品質管理』シートの『項目③』と同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 78」の『7-1_品質管理』シートの入力操作方法を参照してください。

12-12 「7-3_現場条件等」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 C 現場条件等費用』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 C 現場条件等費用』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-3_現場条件等』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 C 現場条件等費用』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 C 現場条件等費用』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-12-1 入力項目（7-3_現場条件等シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 C 現場条件等費用』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-3_現場条件等』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-12-2 入力例（7-3_現場条件等シート）

【「現場条件等」の入力内容】																																																
<p>現場条件により、設計書、特記仕様書等で指定されているものに要した費用を入力してください。</p> <p>例1) 軟弱地盤における計器の設置・撤去及び測定取りまとめに要した費用 例2) 試験盛土等の工事に要した費用 例3) トンネル（NATM）の計測Bに要した費用 例4) 下水道工事において目視による出来形の確認が困難な場合に用いる特別な機器に要した費用 例5) 情報共有システムに要した費用 例6) 施工前に既設構造物の配筋状況の確認に用いる特別な機器（鉄筋探査器等）に要する費用 例7) コンクリート補修工事における事前試験に要する費用</p>																																																
【「7-3_現場条件等」シート】																																																
<p>技術管理費についての調査票</p> <table border="1"> <tr> <td>入力の確認</td> <td>OK</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C 現場条件等により積み上げを要した費用</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>『6_工事費』シートの「技術管理費 C 現場条件等費用」に入力されている金額</td> <td>自社分 300</td> <td>外注分 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A1</td> <td>B1</td> </tr> </table>		入力の確認	OK	C 現場条件等により積み上げを要した費用		『6_工事費』シートの「技術管理費 C 現場条件等費用」に入力されている金額	自社分 300	外注分 0		A1	B1	項目③																																				
入力の確認	OK																																															
C 現場条件等により積み上げを要した費用																																																
『6_工事費』シートの「技術管理費 C 現場条件等費用」に入力されている金額	自社分 300	外注分 0																																														
	A1	B1																																														
<p>上記金額の内訳を入力してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>内訳合計</td> <td>300</td> <td>A2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社分</td> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>項目</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr> <td>情報共有</td> <td>情報共有システムに要した費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>試験盛土・土質試験</td> <td>試験盛土(土質試験)(土木工事施工管理基準の品質管理に記)</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>内訳合計</td> <td>0</td> <td>B2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">外注分</td> </tr> <tr> <td>分類</td> <td>項目</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr> <td>情報共有</td> <td>情報共有システムに要した費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		内訳合計	300	A2	自社分		分類	項目	金額(千円)	情報共有	情報共有システムに要した費用	0	試験盛土・土質試験	試験盛土(土質試験)(土木工事施工管理基準の品質管理に記)	300										内訳合計	0	B2	外注分		分類	項目	金額(千円)	情報共有	情報共有システムに要した費用	0													項目①
内訳合計	300	A2																																														
自社分																																																
分類	項目	金額(千円)																																														
情報共有	情報共有システムに要した費用	0																																														
試験盛土・土質試験	試験盛土(土質試験)(土木工事施工管理基準の品質管理に記)	300																																														
内訳合計	0	B2																																														
外注分																																																
分類	項目	金額(千円)																																														
情報共有	情報共有システムに要した費用	0																																														
		項目②																																														

12-12-3 入力操作方法（7-3_現場条件等シート）

『7-3_現場条件等』シートの『項目②』を入力する際の操作方法は、『7-1_品質管理』シートの『項目③』と同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 78」の『7-1_品質管理』シートの入力操作方法を参照してください。

12-13 「7-4_各種調査」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 D 各種調査等』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 D 各種調査等』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-4_各種調査』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 D 各種調査等』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 D 各種調査等』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-13-1 入力項目（7-4_各種調査シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 D 各種調査等』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1)『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-4_各種調査』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-13-2 入力例 (7-4_各種調査シート)

12-13-3 入力操作方法 (7-4_各種調査シート)

『7-4_各種調査』シートの『項目②』を入力する際の操作方法は、『7-1_品質管理』シートの『項目③』と同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 78」の『7-1_品質管理』シートの入力操作方法を参照してください。

12-14 「7-5_各種台帳」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 E 各種台帳等』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 E 各種台帳等』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-5_各種台帳』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 E 各種台帳等』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 E 各種台帳等』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-14-1 入力項目（7-5_各種台帳シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 E 各種台帳等』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1)『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-5_各種台帳』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-14-2 入力例（7-5_各種台帳シート）

技術管理費についての調査票 E 各種台帳等の作成・修正に要した費用	入力の確認	OK		項目③	
『9_工事費』シートの「技術管理費 E各種台帳等」に入力されている金額	自社分	0 A1	外注分	0 B1	項目①
上記金額の内訳を入力してください。					項目②
内訳合計	0 A2	内訳合計	0 B2		
自社分		外注分			
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)		

12-14-3 入力操作方法（7-5_各種台帳シート）

『7-5_各種台帳』シートの『項目②』を入力する際の操作方法は、『7-1_品質管理』シートの『項目③』と同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 78」の『7-1_品質管理』シートの入力操作方法を参照してください。

12-15 「7-6 ICT 建設機械」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F ICT 建設機械』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F ICT 建設機械』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-6 ICT 建設機械』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F ICT 建設機械』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F ICT 建設機械』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-15-1 入力項目（7-6 ICT 建設機械シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F ICT 建設機械』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-6 ICT 建設機械』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-15-2 入力例 (7-6_ICT 建設機械シート)

12-15-3 入力操作方法 (7-6_ICT 建設機械シート)

『7-6 ICT 建設機械』の『項目②』を入力する際の操作方法は、『7-1_品質管理』シートの『項目③』と同様の操作方法です。

操作方法の詳細については、「P. 78」の『7-1_品質管理』シートの入力操作方法を参照してください。

12-16 「7-7_その他」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F その他』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 64」の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F その他』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-6_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F その他』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F その他』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容及び入力操作方法を確認して入力してください。

12-16-1 入力項目（7-73_その他シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費～技術管理費 F その他』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注1) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『7-6_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p> <p>注2) 入力の際は、後述の入力操作方法を参照してください。</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-16-2 入力例 (7-7_その他シート)

技術管理費についての調査票 G その他、前記A～Fに含まれない項目で特に技術的 判断に必要な資料の作成に要した費用		入力の確認 OK			項目③																																				
『9_工事費』シートの「技術管理費 Gその他」 に入力されている金額		自社分 0 A1	外注分 0 B1		項目①																																				
<p>上記金額の内訳を入力してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>内訳合計</td> <td>0 A2</td> <td>内訳合計</td> <td>0 B2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自社分</td> <td colspan="2">外注分</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>金額(千円)</td> <td>項目</td> <td>金額(千円)</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>						内訳合計	0 A2	内訳合計	0 B2	自社分		外注分		項目	金額(千円)	項目	金額(千円)																								
内訳合計	0 A2	内訳合計	0 B2																																						
自社分		外注分																																							
項目	金額(千円)	項目	金額(千円)																																						
項目②																																									

12-16-1 入力操作方法 (7-7_その他シート)

『7-7_その他シート』シートの『項目』は自由記述です。

12-17 「8-1_準備・測量」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 A 準備・測量等』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.58」の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 A 準備・測量等』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8-1_準備・測量』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 A 準備・測量等』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 A 準備・測量等』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-17-1 入力項目（8-1_準備・測量シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 A 準備・測量等』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。 注)『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8-1_準備・測量』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
③	『項目②』で入力した各項目の費用の合計金額が、自動算出されます。
④	入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。 注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。

農水

12-17-2 入力例 (8-1_準備・測量シート)

項目④

項目①

項目③

項目②

12-18 「8-2_その他」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 B その他』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.59」の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 B その他』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8-2_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 B その他』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 B その他』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-18-1 入力項目（8-2_その他シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 □ 準備費 B その他』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。 注)『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『8-2_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
③	『項目②』で入力した各項目の費用の合計金額が、自動算出されます。
④	入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。 注)一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。

農水

12-18-2 入力例 (8-2_その他シート)

項目④

項目①

項目③

項目②

12-19 「9-1_現場環境改善_仮設備」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 A 仮設備関係』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.66」の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 A 仮設備関係』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-1_現場環境改善_仮設備』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 A 仮設備関係』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 A 仮設備関係』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-19-1 入力項目（9-1_現場環境改善_仮設備シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 A 仮設備関係』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-1_現場環境改善_仮設備』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-19-2 入力例（9-1_現場環境改善_仮設備シート）

項目③			
現場環境改善費についての調査票 仮設備関係に要した費用	入力の確認	OK	
【①工事費】シートの「現場環境改善費 A 仮設備関係」に入力されている金額	自社分	0A1	外注分 0B1
上記金額の内訳を入力してください。			
内訳合計	0A2	内訳合計	0B2
自社分			
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①用水・電力等の供給設備			
②緑化・花壇			
③ライトアップ施設			
④見学路及び椅子の設置			
⑤昇降設備の充実			
⑥環境負荷の低減			
⑦その他			
内訳合計	0B2	外注分	
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①用水・電力等の供給設備			
②緑化・花壇			
③ライトアップ施設			
④見学路及び椅子の設置			
⑤昇降設備の充実			
⑥環境負荷の低減			
⑦その他			

項目②

注)『仮囲い、仮歩道マット、模様フェンス』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。

12-20 「9-2_現場環境改善_営繕」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 66」の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-2_現場環境改善_営繕』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-20-1 入力項目（9-2_現場環境改善_営繕シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 B 営繕関係』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注）『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-2_現場環境改善_営繕』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注）一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-20-2 入力例（9-2_現場環境改善_營繕シート）

項目③			
現場環境改善費についての調査票 當繕関係に要した費用		入力の確認	OK
『e_工事費』シートの「現場環境改善費 B 當繕関係」に入力されている金額		自社分 0 A1	外注分 0 B1
項目①			
上記金額の内訳を入力してください。			
内訳合計	自社分 0 A2	外注分 0 B2	
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)			
②労働者宿舎の快適化			
③デザインボックス(交通誘導員待機室)			
④現場休憩所の快適化			
⑤健康関連施設および厚生施設の充実等			
⑥快適トイレ(共通便設費の營繕費において、積上げ金額を越える場合)			
⑦その他			
内訳合計	自社分 0 A2	外注分 0 B2	
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む)			
②労働者宿舎の快適化			
③デザインボックス(交通誘導員待機室)			
④現場休憩所の快適化			
⑤健康関連施設および厚生施設の充実等			
⑥快適トイレ(共通便設費の營繕費において、積上げ金額を越える場合)			
⑦その他			

項目②

注)『倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、トイレの水洗化、シャワーの設備、ウォータークーラー、意見箱の設置、観葉植物』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、
計上しないでください。

12-21 「9-3_現場環境改善_安全」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 C 安全関係』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P.66」の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 C 安全関係』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-3_現場環境改善_安全』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 C 安全関係』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 C 安全関係』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-21-1 入力項目（9-3_現場環境改善_安全シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 C 安全関係』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注）『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-3_現場環境改善_安全』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注）一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>
④	<p>『避暑（熱中症予防）対策』の内訳を入力してください。</p> <p>注）プルダウンの選択肢にない場合は直接入力してください。</p>

12-21-2 入力例 (9-3_現場環境改善_安全)

注)『バリケード、転落防止柵』の現場環境改善は、一般化したものとしておりますので、計上しないでください。

12-22 「9-4_現場環境改善_地域」シート

下請者及び再下請者（下請者の外注分）に関して、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 D 地域連携』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 66」の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 D 地域連携』の入力項目を参照してください。
- 注2) 再下請者（下請者の外注分）については、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-4_現場環境改善_地域』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 D 地域連携』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 D 地域連携』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-22-1 入力項目（9-4_現場環境改善_地域シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 D 地域連携』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	<p>『自社分』欄には、自社分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『外注分』欄には、再下請者（下請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。</p> <p>注) 『外注分』欄は、各再下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-4_現場環境改善_地域』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p>
③	<p>入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。</p> <p>一致している場合は、『OK』が表示されます。 また、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。</p> <p>注) 一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。</p>

12-22-2 入力例（9-4_現場環境改善_地域シート）

項目③			
現場環境改善費についての調査票 地域連携に要した費用		入力の確認	OK
『工事費』シートの「現場環境改善費 D地域連携」に入力されている金額		自社分 0 A1	外注分 0 B1
上記金額の内訳を入力してください。			
内訳合計		0 A2	
自社分			
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①完成予想図			
②工法説明図			
③工事工程表			
④デザイン工事看板(各工事PR看板含む)			
⑤見学会等の開催(イベント等の実施含む)			
⑥見学会所(インフォメーションセンター)の設置 及び管理運営			
⑦パンフレット・工法説明ビデオ			
⑧地域対策費等(地域行事等の経費含む)			
⑨社会貢献			
⑩その他			

項目①			
内訳合計		0 B2	
外注分			
【Ⅰ】 実施内容	【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様	【Ⅳ】 数量
①完成予想図			
②工法説明図			
③工事工程表			
④デザイン工事看板(各工事PR看板含む)			
⑤見学会等の開催(イベント等の実施含む)			
⑥見学会所(インフォメーションセンター)の設置 及び管理運営			
⑦パンフレット・工法説明ビデオ			
⑧地域対策費等(地域行事等の経費含む)			
⑨社会貢献			
⑩その他			

項目②			
-----	--	--	--

12-23 「9-5_現場環境改善_その他」シート

元請者及び下請者（元請者の外注分）について、『6_工事費』シート内の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 E その他』で入力した費用の内訳について入力してください。

- 注1) 項目の詳細については、「P. 66」の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 E その他』の入力項目を参照してください。
- 注2) 下請者（元請者の外注分）については、各下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-5_現場環境改善_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
- 注3) 下請者における『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 E その他』が、適正に記入されていることを確認してください。
- 注4) 入力する内訳費用の合計金額は、『9_工事費』シートの『元請』欄及び『元請外注合計』欄の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 E その他』に入力した金額と一致することを確認してください。
- 注5) 当該項目に費用計上が無い場合は、入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-23-1 入力項目（9-5_現場環境改善_その他シート）

項目	内 容
①	『6_工事費』シートの『元請』欄及び『元請外注合計』欄の『②間接工事費（1）共通仮設費 チ 現場環境改善費 E その他』に入力した金額が、当該シートの『元請』欄及び『元請外注』欄に、それぞれ自動計上されます。
②	『元請』欄には、元請分の費用内訳を該当項目に入力してください。 『元請外注』欄には、下請者（元請者の外注分）の費用内訳を該当項目に入力してください。 注)『元請外注』欄は、各下請者から回収した調査票（下請者用）の『9-5_現場環境改善_その他』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）
③	入力した内訳費用の合計金額と、『項目①』にて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。 注)一致しない場合は、当該シートで入力した費用内訳の金額、または『6_工事費』シートで入力した該当項目の費用を修正し、必ず金額を一致させてください。

12-23-2 入力例（9-5_現場環境改善_その他シート）

項目③			
現場環境改善費についての調査票 その他に要した費用		入力の確認	OK
【6.工事費】シートの「現場環境改善費 その他」に入力されている金額		自社分 0A1	外注分 0B1
項目①			
上記金額の内訳を入力してください。			
内訳合計		外注合計	
		0A2	
内訳合計		0B2	
【Ⅰ】 実施内容 ※具体的な実施内容を入力して下さい。		【Ⅱ】 金額(千円)	【Ⅲ】 実施内容の概略仕様
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
【Ⅳ】 数量			
項目②			

12-24 「10_ICT」シート

ICT活用工事に係る設計金額等について入力します。

注) ICT活用に関し、設計計上していない工事は入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認して入力してください。

12-24-1 入力項目（10_ICTシート）

項目	内 容
I	<p>『6_工事費』シートの『自社分』欄及び『再下請』欄（再下請者の合計）の『②間接工事費（1）共通仮設費 へ 技術管理費 F ICT建設機械』に入力した金額が、当該シートの『自社分』欄及び『外注分』欄に、それぞれ自動計上されます。</p>
II	<p>①3次元起工測量 『6_工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」に計上したもの。 注) 使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注) 複数回実施した場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>②3次元設計データ作成 『工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」に計上したもの。 注) 複数回実施した場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>③ICT建設機械による施工 工種、使用機械を選択（「その他」の場合は入力）し、施工数量を入力してください。 注) 工種毎、使用機械毎に、行を追加し記入してください。</p> <p>④3次元出来形管理資料作成（河川浚渫） 『6_工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」に計上したもの。 注) 使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注) 複数回実施した場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>⑤3次元出来形管理資料作成 『工事費』シートの「技術管理費 A 品質管理」に計上したもの。 注) 使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注) 複数回実施した場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>⑥保守点検費 『工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」に計上したもの。 注) 工種も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注) 工種毎に、行を追加し記入してください。</p> <p>⑦システム初期費 『工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」に計上したもの。 注) 使用機械も選択（「その他」の場合は入力）してください。 注) 使用機械毎に、行を追加し記入してください。</p> <p>⑧上記以外 『工事費』シートの「技術管理費 G その他」に計上したもの。 注) 項目・内容が分かるよう具体的に入力してください。 注) 複数ある場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>⑨上記以外 『工事費』シートの「技術管理費 F ICT建設機械」「技術管理費 G その他」以外に計上したもの。 注) 項目・内容が分かるように入力してください。 注) 計上した費目を入力してください。 注) 複数ある場合は、行を追加し記入してください。</p> <p>注) 『外注分』欄は、各下請者から回収した調査票（下請者用）の『ICT』シートの内容を転記してください。（入力された全ての内容を転記してください。）</p>
III	上記IIの①②④⑥⑦で入力した費用の合計金額と、Iにて自動計上される金額が一致しているかを確認する項目です。 一致している場合は、『OK』が、一致しない場合は、『エラー』と表示されます。

農水

12-24-2 入力例 (10_I_C Tシート)

DCT活用工事に係る設計金額等調査票
当本シートは、DCT活用工事を実施した場合の記入ください。
「④工事費」シートで計上した内、DCT活用に関する要した費用を全て本シートに記載して下さい。

12-25 「11_快適トイレ」シート

快適トイレに係る費用等について入力します。

注) 快適トイレを設置していない工事は入力不要です。

以下の入力例を参考に、入力内容を確認してください。

複数の規格を設置した場合は、行を追加し、全て記入してください。

12-25-1 入力項目（11_快適トイレシート）

項目	内 容
規格等	<p>以下の記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカー名 ・製品名 ・型番 ・タイプ ・男性用の基数 ・女性用の基数 ・設置期間（自） ・設置期間（至）
費用 (1)～(6)、(7)～(11)、 (12)～(17)に分割可能 な場合	<p>快適トイレに求める機能(1)～(6)について記入してください。</p> <p>①単価（円／月・基） ②合計（円） ※①×月数×基数</p> <p>快適トイレとして活用するために備える付属品(7)～(11)について記入してください。</p> <p>③単価（円／月・基） ④合計（円） ※①×月数×基数 又は 一式 ※月・基当たりの記載が出来ない場合は③を空欄とし、④のみ記載</p> <p>推奨する仕様、付属品(12)～(17)について記入してください。</p> <p>⑤単価（円／月・基） ⑥合計（円） ※①×月数×基数 又は 一式 ※月・基当たりの記載が出来ない場合は⑤を空欄とし、⑥のみ記載</p> <p>(1)～(17)以外に要した費用について記入してください。</p> <p>⑦合計（円） 具体的名称 ※複数ある場合は、行を追加し記入してください。</p>
費用 (1)～(6)、(7)～(11)、 (12)～(17)に分割不 可能な場合	<p>快適トイレ(1)～(17)について記入してください。</p> <p>①単価（円／月・基） ②合計（円） ※①×月数×基数 又は 一式 ※月・基当たりの記載が出来ない場合は①を空欄とし、②のみ記載</p> <p>(1)～(17)以外に要した費用について記入してください。</p> <p>③合計（円） 具体的名称 ※複数ある場合は、行を追加し記入してください。</p>

項目	内容
仕様	<p>設置した場合に○を記入してください。</p> <p>【快適トイレに求める機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 洋式便座 (2) 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む） (3) 臭い逆流防止機能（フランッパー機能） (4) 容易に開かない施錠機能（二重ロック等） (5) 照明設備（電源がなくても良いもの） (6) 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能 (耐荷重 5kg 以上) <p>【快適トイレとして活用するために備える付属品】</p> <ul style="list-style-type: none"> (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等） (9) サニタリーボックス（女性専用トイレに限る） (10) 鏡付きの洗面台 (11) 便座除菌シート等の衛生用品 <p>【推奨する仕様、付属品】</p> <ul style="list-style-type: none"> (12) 室内寸法 900×900mm 以上（半畳程度以上） (13) 擬音装置 (14) 着替え台（フィッティングボード等） (15) フランッパー機能の多重化 (16) 窓など室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

12-25-2 入力例 (11_快適トイレシート)

快適トイレ設置に関する詳細調査票																																															
規格等																																															
メーカー																																															
製品名																																															
型番																																															
タイプ																																															
男性用の基数	基																																														
女性用の基数	基																																														
設置期間(自)	和暦 年 月 日																																														
" (至)	和暦 年 月 日																																														
費用																																															
「快適トイレに求める機能」(1)～(6)、「快適トイレとして活用するために備える付属品」(7)～(11)、「推奨する仕様、付属品」(12)～(17)に分割可能な場合																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>快適トイレに求める機能(1)～(6)</td><td>(1)</td><td>円／月・基</td></tr> <tr><td>" (1) × 月数 × 基数</td><td>(2)</td><td>円</td></tr> <tr><td>快適トイレとして活用するために備える付属品(7)～(11)</td><td>(3)</td><td>円／月・基</td></tr> <tr><td>※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、④のみ記載</td><td>(4)</td><td>円</td></tr> <tr><td>" (3) × 月数 × 基数 又は 円／式</td><td>(5)</td><td>円／月・基</td></tr> <tr><td>推奨する仕様、付属品(12)～(17)</td><td>(6)</td><td>円</td></tr> <tr><td>※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、⑤のみ記載</td><td>(7)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>" (5) × 月数 × 基数 又は 円／式</td><td>(8)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>(1)～(17)以外に要した費用</td><td>(9)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【1】具体的な名称:</td><td>(10)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【2】具体的な名称:</td><td>(11)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【3】具体的な名称:</td><td>(12)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【4】具体的な名称:</td><td>(13)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【5】具体的な名称:</td><td>(14)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>(2)(4)(6)(7)の合計</td><td>(15)</td><td>0</td></tr> </table>		快適トイレに求める機能(1)～(6)	(1)	円／月・基	" (1) × 月数 × 基数	(2)	円	快適トイレとして活用するために備える付属品(7)～(11)	(3)	円／月・基	※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、④のみ記載	(4)	円	" (3) × 月数 × 基数 又は 円／式	(5)	円／月・基	推奨する仕様、付属品(12)～(17)	(6)	円	※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、⑤のみ記載	(7)	円／式	" (5) × 月数 × 基数 又は 円／式	(8)	円／式	(1)～(17)以外に要した費用	(9)	円／式	【1】具体的な名称:	(10)	円／式	【2】具体的な名称:	(11)	円／式	【3】具体的な名称:	(12)	円／式	【4】具体的な名称:	(13)	円／式	【5】具体的な名称:	(14)	円／式	(2)(4)(6)(7)の合計	(15)	0	左記の分割が不可能な場合
快適トイレに求める機能(1)～(6)	(1)	円／月・基																																													
" (1) × 月数 × 基数	(2)	円																																													
快適トイレとして活用するために備える付属品(7)～(11)	(3)	円／月・基																																													
※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、④のみ記載	(4)	円																																													
" (3) × 月数 × 基数 又は 円／式	(5)	円／月・基																																													
推奨する仕様、付属品(12)～(17)	(6)	円																																													
※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、⑤のみ記載	(7)	円／式																																													
" (5) × 月数 × 基数 又は 円／式	(8)	円／式																																													
(1)～(17)以外に要した費用	(9)	円／式																																													
【1】具体的な名称:	(10)	円／式																																													
【2】具体的な名称:	(11)	円／式																																													
【3】具体的な名称:	(12)	円／式																																													
【4】具体的な名称:	(13)	円／式																																													
【5】具体的な名称:	(14)	円／式																																													
(2)(4)(6)(7)の合計	(15)	0																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>(1)～(17)</td><td>(1)</td><td>円／月・基</td></tr> <tr><td>※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、②のみ記載</td><td>(2)</td><td>円</td></tr> <tr><td>" (1) × 月数 × 基数 又は 円／式</td><td>(3)</td><td>0円／式</td></tr> <tr><td>(1)～(17)以外に要した費用</td><td>(4)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【1】具体的な名称:</td><td>(5)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【2】具体的な名称:</td><td>(6)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【3】具体的な名称:</td><td>(7)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【4】具体的な名称:</td><td>(8)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>【5】具体的な名称:</td><td>(9)</td><td>円／式</td></tr> <tr><td>(2)(3)の合計</td><td>(10)</td><td>0</td></tr> </table>		(1)～(17)	(1)	円／月・基	※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、②のみ記載	(2)	円	" (1) × 月数 × 基数 又は 円／式	(3)	0円／式	(1)～(17)以外に要した費用	(4)	円／式	【1】具体的な名称:	(5)	円／式	【2】具体的な名称:	(6)	円／式	【3】具体的な名称:	(7)	円／式	【4】具体的な名称:	(8)	円／式	【5】具体的な名称:	(9)	円／式	(2)(3)の合計	(10)	0																
(1)～(17)	(1)	円／月・基																																													
※月・基当たりの記載が出来ない場合は空欄とし、②のみ記載	(2)	円																																													
" (1) × 月数 × 基数 又は 円／式	(3)	0円／式																																													
(1)～(17)以外に要した費用	(4)	円／式																																													
【1】具体的な名称:	(5)	円／式																																													
【2】具体的な名称:	(6)	円／式																																													
【3】具体的な名称:	(7)	円／式																																													
【4】具体的な名称:	(8)	円／式																																													
【5】具体的な名称:	(9)	円／式																																													
(2)(3)の合計	(10)	0																																													
仕様(設置した場合に○を記入)																																															
【快適トイレに求める機能】																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>(1)洋式便座</td><td></td></tr> <tr><td>(2)水洗機能(簡易水洗、屎尿処理装置付き含む)</td><td></td></tr> <tr><td>(3)臭い逆流防止機能(フランパー機能)</td><td></td></tr> <tr><td>(4)容易に開かない施錠機能(二重ロック等)</td><td></td></tr> <tr><td>(5)照明設備(電源がなくとも良いもの)</td><td></td></tr> <tr><td>(6)衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg 以上)</td><td></td></tr> </table>		(1)洋式便座		(2)水洗機能(簡易水洗、屎尿処理装置付き含む)		(3)臭い逆流防止機能(フランパー機能)		(4)容易に開かない施錠機能(二重ロック等)		(5)照明設備(電源がなくとも良いもの)		(6)衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg 以上)																																			
(1)洋式便座																																															
(2)水洗機能(簡易水洗、屎尿処理装置付き含む)																																															
(3)臭い逆流防止機能(フランパー機能)																																															
(4)容易に開かない施錠機能(二重ロック等)																																															
(5)照明設備(電源がなくとも良いもの)																																															
(6)衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg 以上)																																															
【快適トイレとして活用するために備える付属品】																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>(7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示</td><td></td></tr> <tr><td>(8)入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等)</td><td></td></tr> <tr><td>(9)サニタリーボックス(女性専用トイレに限る)</td><td></td></tr> <tr><td>(10)鏡付きの洗面台</td><td></td></tr> <tr><td>(11)便座除菌シート等の衛生用品</td><td></td></tr> </table>		(7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示		(8)入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等)		(9)サニタリーボックス(女性専用トイレに限る)		(10)鏡付きの洗面台		(11)便座除菌シート等の衛生用品																																					
(7)現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示																																															
(8)入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等)																																															
(9)サニタリーボックス(女性専用トイレに限る)																																															
(10)鏡付きの洗面台																																															
(11)便座除菌シート等の衛生用品																																															
【推奨する仕様、付属品】																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>(12)室内寸法900×900mm 以上(半巻程度以上)</td><td></td></tr> <tr><td>(13)擬音装置</td><td></td></tr> <tr><td>(14)着替え台(ファッティングボード等)</td><td></td></tr> <tr><td>(15)フランパー機能の多重化</td><td></td></tr> <tr><td>(16)窓など室内温度の調整が可能な設備</td><td></td></tr> <tr><td>(17)小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場)</td><td></td></tr> </table>		(12)室内寸法900×900mm 以上(半巻程度以上)		(13)擬音装置		(14)着替え台(ファッティングボード等)		(15)フランパー機能の多重化		(16)窓など室内温度の調整が可能な設備		(17)小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場)																																			
(12)室内寸法900×900mm 以上(半巻程度以上)																																															
(13)擬音装置																																															
(14)着替え台(ファッティングボード等)																																															
(15)フランパー機能の多重化																																															
(16)窓など室内温度の調整が可能な設備																																															
(17)小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場)																																															

12-26 「12_感染対策」シート

設計変更により、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に要した費用について入力します。

12-26-1 入力項目（12_感染対策）

項目	内 容
1 共通仮設費	<p>設計変更により、共通仮設費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 ・現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 <p>注) 上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>
2 現場管理費	<p>設計変更により、現場管理費に計上した新型コロナウイルスの感染拡大対策防止に係る費用を以下項目毎に入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 ・現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 ・遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費 <p>注) 上記以外に計上している場合、計上した項目と金額を入力してください。</p>

農水

12-26-2 入力例 (12_感染対策)

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に係る費用調査		入力の確認	OK																																																
①共通仮設費																																																			
『6_工事費』シートの「新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用」に入力されている金額		自社分 0 A1	外注分 0 B1																																																
上記金額の内訳を入力してください。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳合計</th> <th>0 A2</th> </tr> <tr> <th>自社分</th> <td></td> </tr> <tr> <th>【Ⅰ】 対策内容</th> <th>【Ⅱ】 金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料</td> <td>0</td> </tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table>		内訳合計	0 A2	自社分		【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)	労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	0	現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0															<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳合計</th> <th>0 B2</th> </tr> <tr> <th>外注分</th> <td> </td></tr> <tr> <th>【Ⅰ】 対策内容</th> <th>【Ⅱ】 金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料</td> <td>0</td> </tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table>		内訳合計	0 B2	外注分		【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)	労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	0	現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0														
内訳合計	0 A2																																																		
自社分																																																			
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)																																																		
労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	0																																																		
現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0																																																		
内訳合計	0 B2																																																		
外注分																																																			
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)																																																		
労働者宿舎における密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費	0																																																		
現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料	0																																																		
②現場管理費																																																			
『6_工事費』シートの「新型コロナウイルス感染拡大防止対策費用」に入力されている金額		自社分 0 A1	外注分 0 B1																																																
上記金額の内訳を入力してください。																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳合計</th> <th>0 A2</th> </tr> <tr> <th>自社分</th> <td> </td></tr> <tr> <th>【Ⅰ】 対策内容</th> <th>【Ⅱ】 金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費</td> <td>0</td> </tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table>		内訳合計	0 A2	自社分		【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)	現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	0	現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0	遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0													<table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳合計</th> <th>0 B2</th> </tr> <tr> <th>外注分</th> <td> </td></tr> <tr> <th>【Ⅰ】 対策内容</th> <th>【Ⅱ】 金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費</td> <td>0</td> </tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </tbody> </table>		内訳合計	0 B2	外注分		【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)	現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	0	現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0	遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0												
内訳合計	0 A2																																																		
自社分																																																			
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)																																																		
現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	0																																																		
現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0																																																		
遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0																																																		
内訳合計	0 B2																																																		
外注分																																																			
【Ⅰ】 対策内容	【Ⅱ】 金額(千円)																																																		
現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用	0																																																		
現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用	0																																																		
遠隔臨場やテレビ会議等のための機材・通信費	0																																																		